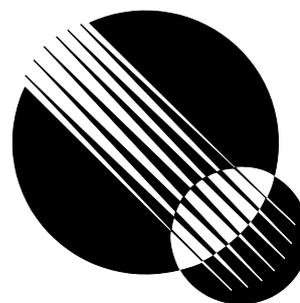


公益社団法人
日本放射線技術学会中部支部
2023年度 中部支部会誌



- 巻頭言
- 第16回中部放射線医療技術学術大会の案内
- 2023年度事業報告
- 2023年度会計報告
- 2023年度研究会活動報告、トピックス
- 2024年度事業計画
- 2024年度予算案
- 庶務報告（役員名簿、会員動向、表彰報告）
- 総務委員会・理事会議事録



巻頭言

学会の未来に「つなげる」年



中部支部支部長 大橋 一也

名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院

まず、元日に発生しました能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

昨年度は、時間が許す限り学会や研究会に足を運び、自身の目で現場を確かめ、会員の皆さんの生の声を聴かせてもらいました。皆さんとの活発な意見交換を通じて、私自身、多くの気づき・刺激を得ることができました。コミュニケーションの方法は多様化していますが、学会の未来を、共に創っていくためには、皆さんとの直接の意見交換、対面での議論に勝るものはないと、改めて実感しています。

また、私が学術委員長の際に始めた事業の若手研究者育成のためのステップアップセミナーにつきましては、講師の先生方と受講生の方々の頑張りで、英語論文アクセプトなど多くの実績を積み重ね、とても素晴らしい成果を上げることが出来ました。本事業につきましては、講師の先生方に多大なご協力を賜り誠にありがとうございました。若手育成セミナーの報告会においても、受講生の方々の研究内容やプレゼンなど能力の高さを本当に実感しました。本事業によって学会の将来を担う人材を多く発掘できたと思います。

2024年度は、新たな中部支部の事業を2つ始めていきます。1つは学生向けのイベントになります。こちらは広報編集委員会が企画し学術委員会と協力して、若い世代に学会の魅力を伝える企画となります。もう1つは学術委員長の永澤副支部長が中心となって企画した、BLUE-DOLPHINS セミナー (Basic Level Understanding Education・Delivery Of Lecture Performance & Hands-on IN Suzuka) になります。

鈴鹿医療科学大学を会場にした、X線CTと画像工学のベーシックハンズオンセミナーを新たに企画しますので、是非、積極的に参加して下さい。

これからの時代は、オープンイノベーション、業界の壁を超えた、研究が重要になってきます。私自身も様々な診療科や学部とコラボレーションすることで非常に多くの情報とアイデアをもらっています。そのためにも、まずは現場の最前線に立つ会員の皆さんには、是非、対面する診療科の先生や他業界との「つながり」を構築し、会話や現場から得られるヒントを見逃さないで欲しいと思います。時代の半歩先・一歩先を進むためには、ニーズや動向を察知する先見性と、それを研究につなげる発想力が必要となります。その情報を基に上司や同僚と議論を重ね、勇気をもって新たな研究に挑戦することが

重要だと思います。

皆さんとの「つながり」を更に強め、大いに議論し学会の未来に「つなげる」年にしたいと思っています。

第 16 回中部放射線医療技術学術大会 (CCRT) のお知らせ

第 16 回中部放射線医療技術学術大会
第 58 回 公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部学術大会
副大会長 廣田 真

開催概要

名 称	第 16 回中部放射線医療技術学術大会 第 58 回日本放射線技術学会中部支部学術大会 第 32 回中日本地域放射線技師学術大会
大会テーマ	「技術の革新と叡知の伝承」～放射線医療の新たな使命～
会 期	2024 年 12 月 7 日(土)～12 月 8 日(日)
会 場	じゅうろくプラザ 岐阜県岐阜市橋本町 1 丁目 10-11
演題募集期間	2024 年 7 月 1 日～8 月 31 日 (予定)
大会長	加藤 秀記 (第 32 回中日本地域放射線技師学術大会 大会長) 中津川市民病院
副大会長	廣田 真 (第 58 回日本放射線技術学会中部支部学術大会 大会長) 岐阜大学医学部附属病院
実行委員長	檜山 征也 中部国際医療センター

2023年度 中部支部事業報告

1. 第57回日本放射線技術学会中部支部学術大会（第15回中部放射線医療技術学術大会）を開催した。

会期：2023年11月25日（土）、11月26日（日）
会場：AOSSA（福井市）＋オンデマンド
参加人数：526名
2. 2023年度第1回中部支部学術セミナーを開催した。

会期：2023年5月27日（土）
会場：石川県立中央病院
参加人数：60名
内容：最新CT技術の革新的な進歩に迫る
3. 2023年度第2回中部支部学術セミナーを延期した。

※令和6年能登半島地震の影響で演者およびスタッフの確保が困難となり中止
会期：2024年1月13日（土）
会場：TKP名古屋駅前カンファレンスセンター（名古屋市）＋ライブ配信
内容：医療安全・救急医療
4. 2023年度 若手研究者のための中部支部ステップアップセミナーを開催した。

会期：2023年5月24日（水）6月14日（水）
会場：web開催
参加人数：9名
5. 2023年度 若手育成セミナーオンライン報告会を開催した。

会期：2023年12月21日（水）
会場：web開催
参加人数：79名
6. 2023年度 CT technical boot camp を開催した。

会期：2023年8月27日（土）～8月28日（日）
会場：金大病院 CPD センター（金沢市）
参加人数：39名
内容：Dual Energy CT master program
7. 第93回乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会を開催した。（教育委員会、撮影部会、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構共催）

会期：2023年8月19日（土），20日（日）

会場：名古屋医療センター

参加人数：47名

内容：読影実習、ポジショニング実習、臨床画像評価等、筆記試験、読影試験

8. 支部技術セミナーを開催した。（参加人数：1475名）

1) 第1回技術セミナー（アンギオ研究会）

会期：2023年6月24日（土）

開催方式：愛知医科大学 たちばなホール +ハイブリッド開催

参加人数：201名

内容：「外傷 IVR+体幹部+四肢に対する IVR 技術について学ぶ」

2) 第2回技術セミナー（乳房画像研究会）

会期：2023年6月24日（土）

開催方式：石川県地場産業振興センター 本館2階 第2研修室

参加人数：63名

内容：「妊婦は大丈夫？乳房撮影時の被ばく線量」

「アフターコロナ、どうする乳癌診療」

「マンモグラフィ施設・画像評価から考える画質とポジショニング」

3) 第3回技術セミナー（放射線防護研究会）

会期：2023年7月8日（土）

開催方式：web 開催

参加人数：30名

内容：「放射線計測の基礎について学ぶ」

4) 第4回技術セミナー（CT 研究会）

会期：2023年7月20日（木）

開催方式：web 開催

参加人数：64名

内容：「もっと深く知りたい JSRT 演題」

5) 第5回技術セミナー（核医学研究会）

会期：2023年7月30日（日）

開催方式：刈谷市総合文化センター

参加人数：16名

内容：「全くの初心者がモンテカルロシミュレーションの SIMIND を“すこし”使えるようになる！」

6) 第6回技術セミナー（MR 研究会）

会期：2023年8月19日（土）

開催方式：富山県立中央病院

参加人数：29名

内容：「MRA」

7) 第7回技術セミナー（画像研究会）

会期：2023年9月23日（土）

開催方式：名古屋市立大学

参加人数：41名

内容：「初歩の画像処理 ～画像処理の基礎から AI を用いた画像処理や検像システムを学ぶ～」

8) 第8回技術セミナー（超音波画像研究会）

会期：2023年9月24日（日）

会場：金沢医科大学病院

参加人数：28名

内容：「ハンズオン」

9) 第9回技術セミナー（CT研究会）

会期：2023年11月9日（木）

開催方式：web 開催

参加人数：203名

内容：「CT スペシャリストたちが CT 初学者向けにイチから優しく説明します」

10) 第10回技術セミナー（画像研究会）

会期：2023年11月11日（土）

開催方式：金沢大学医薬保健学域保健学類

参加人数：27名

内容：「初歩の画像処理」「臨床に用いられる AI 技術」

11) 第11回技術セミナー（アンギオ研究会）

会期：2023年12月11日（月）

開催方式：web 開催

参加人数：200名

内容：「血管造影・IVR の画像評価を考える」

12) 第12回技術セミナー（核医学研究会）

会期：2023年12月16日（土）

開催方式：web 開催

参加人数：44名

内容：「論文投稿支援および論文化推進」

13) 第13回技術セミナー（放射線防護研究会）

会期：2023年12月17日（日）

開催方式：藤田医科大学

参加人数：8名

内容：「診断領域で使用される線量計についての紹介と測定の体験セミナー」

14) 第14回技術セミナー（放射線治療研究会）

会期：2023年12月17日（日）

開催方式：web 開催

参加人数：159名

内容：「品質管理」と「安心安全な放射線治療」

15) 第15回技術セミナー (CT研究会)

会期：2024年1月18日 (土)

開催方式：web開催

参加人数：78名

内容：「RSNA 報告と論文抄読会および各施設の論文抄読会紹介」

16) 第16回技術セミナー (MR研究会)

会期：2024年1月20日 (土)

開催方式：web開催

参加人数：47名

内容：「造影 MR を考える」

17) 第17回技術セミナー (MR研究会)

会期：2024年1月20日 (土)

開催方式：名古屋市立大学

参加人数：82名

内容：「AI」、「脊椎 MRI の基礎と応用」の講演および中部地区から全国に発信された演題を解説」

18) 第18回技術セミナー (放射線治療研究会)

会期：2024年1月20日 (土)

開催方式：web開催

参加人数：155名

内容：「小児放射線治療」

9. 刊行物を発刊した。

(1) タイトル：中部支部誌 VOL. 25

発刊日：2023年4月28日 (web版のみ)

(2) タイトル：支部ニューズレター “ビーム中部2023年第1号 CCRT 演題募集号”

発刊日：2023年7月3日 (web版のみ)

(3) タイトル：支部ニューズレター “ビーム中部2023年第2号 CCRT プログラム号”

発刊日：2023年11月9日 (web版のみ)

10. 支部表彰について

規程に基づき、功労賞、奨励賞の選考および学術大会にて表彰を行った。

功労賞：小山 修司 (名古屋大学)

奨励賞：大谷 昂 (福井大学医学部附属病院)

岩倉 圭佑 (焼津市立総合病院)

坂本 昌隆 (浜松医科大学医学部附属病院)

山下 勝礼 (浜松医科大学医学部附属病院)

高田 圭 (富山大学附属病院)

瀬川 恵子 (金沢大学附属病院)

熊原 成美 (金沢大学附属病院)

山下 匠造 (公立松任石川中央病院)

齋藤 龍典 (聖隷浜松病院)

2023年度 中部支部収支計算書

2023年3月1日から2024年2月末日まで

2023年度 中部支部収支計算書 2023年3月1日から2024年2月末日まで

(単位：円)

科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入				
(1) 研究奨励資金運用収入			0	
(2) 総会学術集会等準備資金運用収入			0	
2) 会費収入	6,000,000	5,303,000	697,000	
(1) 支部正会員通常会費	5,000,000	4,246,000	754,000	
(2) 特別会費収入(支部学術集会)	1,000,000	1,057,000	△ 57,000	
(3) 特別会費収入(定期研究発表会)	0	0	0	
3) 事業収入	2,000,000	2,110,900	△ 110,900	
(1) 広告料収入	0	0	0	
(2) 研修会等収入	800,000	970,900	△ 170,900	
(3) 学術大会事業収入	1,200,000	1,140,000	60,000	
4) 補助金等収入	2,150,000	1,836,600	313,400	
(1) 本部支部助成金収入	2,150,000	1,836,600	313,400	
(2) 地方公共団体助成金収入	0	0	0	
(3) 民間補助金収入	0	0	0	
5) 負担金収入	0	0	0	
(1) 負担金収入	0	0	0	
6) 寄付金収入	0	0	0	
(1) 寄付金収入	0	0	0	
7) 雑収入	5,000	2,161	2,839	
(1) 利息収入	3,000	161	2,839	
(2) 雑収入	2,000	2,000	0	
事業活動収入計	10,155,000	9,252,661	902,339	
2. 事業活動支出				
1) 事業費	10,330,000	7,019,003	3,310,997	
(1) 支部学術集會費	4,400,000	3,717,011	682,989	
① 会議費	300,000	160,117	139,883	
② 旅費交通費	450,000	614,520	△ 164,520	
③ 通信運搬費	50,000	12,142	37,858	
④ 消耗品費	50,000	33,619	16,381	
⑤ 印刷製本費	500,000	216,754	283,246	
⑥ 賃借料	800,000	641,900	158,100	
⑦ 諸謝金	150,000	87,983	62,017	
⑧ 委託費	2,000,000	1,769,350	230,650	
⑨ 雑費	100,000	180,626	△ 80,626	
(2) 定期研究発表会費	0	0	0	
① 会議費	0	0	0	
② 旅費交通費	0	0	0	
③ 通信運搬費	0	0	0	
④ 消耗品費	0	0	0	
⑤ 印刷製本費	0	0	0	
⑥ 賃借料	0	0	0	
⑦ 諸謝金	0	0	0	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	0	0	0	
(3) 表彰費	400,000	320,000	80,000	
① 表彰費	200,000	120,000	80,000	
② 学術研究助成金	200,000	200,000	0	
③ 雑費	0	0	0	

(4) 講演会等開催費	1,970,000	1,045,622	924,378	
① 会議費	150,000	239,181	△ 89,181	
② 旅費交通費	700,000	378,040	321,960	
③ 通信運搬費	200,000	0	200,000	
④ 消耗品費	120,000	0	120,000	
⑤ 印刷製本費	200,000	0	200,000	
⑥ 賃借料	300,000	275,610	24,390	
⑦ 諸謝金	100,000	3,341	96,659	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	200,000	149,450	50,550	
(5) 広報・会誌費	1,000,000	198,880	801,120	
① 通信運搬費	0	0	0	
② 印刷製本費	0	0	0	
③ 諸謝金	0	0	0	
④ 委託費	1,000,000	198,880	801,120	
(6) 調査研究費	2,200,000	1,519,383	680,617	
① 会議費	600,000	532,563	67,437	
② 旅費交通費	900,000	739,220	160,780	
③ 通信運搬費	30,000	2,716	27,284	
④ 消耗品費	100,000	4,099	95,901	
⑤ 印刷製本費	100,000	0	100,000	
⑥ 賃借料	120,000	43,420	76,580	
⑦ 諸謝金	300,000	185,870	114,130	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	50,000	11,495	38,505	
(7) 諸委員会費	310,000	218,107	91,893	
① 企画委員会	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
② 編集委員会費	30,000	0	30,000	
(会議費)	30,000	0	30,000	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
③ 大会開催委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
④ 表彰委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑤ 広報委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑥ 財務委員会費	130,000	186,107	△ 56,107	
(会議費)	30,000	10,667	19,333	
(旅費交通費)	100,000	175,440	△ 75,440	
(雑費)	0	0	0	
⑦ 総務委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑧ 特別委員会費	150,000	32,000	118,000	学術委員会
(会議費)	100,000	32,000	68,000	
(旅費交通費)	50,000	0	50,000	
(雑費)	0	0	0	
⑨ 委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
(8) 雑費	50,000	0	50,000	
① 事業雑費	50,000	0	50,000	

2) 管理費	1,625,000	2,332,877	△ 707,877	
(1) 給料手当	0	0	0	
(2) 臨時雇費用	0	0	0	
(3) 福利厚生費	0	0	0	
(4) 会議費	120,000	228,338	△ 108,338	
(5) 旅費交通費	1,000,000	1,998,930	△ 998,930	
(6) 通信運搬費	20,000	7,054	12,946	
(7) 消耗什器備品費	200,000	0	200,000	
(8) 消耗品費	35,000	28,105	6,895	
(9) 修繕費	0	0	0	
(10) 印刷製本費	20,000	0	20,000	
(11) 光熱水料費	0	0	0	
(12) 賃借料	150,000	62,640	87,360	
(13) 保険料	0	0	0	
(14) 諸謝金	0	0	0	
(15) 租税公課	0	0	0	
(16) 負担金（支払手数料・事務所負担金）	30,000	7,810	22,190	
(17) 委託費	0	0	0	
(18) 減価償却費	0	0	0	
(19) 管理雑費	50,000	0	50,000	
事業活動支出計	11,955,000	9,351,880	2,603,120	
事業活動収支差額	△ 1,800,000	△ 99,219	△ 1,700,781	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
(1) 研究奨励資金取崩収入	0	0	0	
(2) 総会学術集会等準備資金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
1) 固定資産取得支出	0	0	0	
(1) 什器備品購入支出	0	0	0	
2) 特定資産取得支出	0	0	0	
(1) 研究奨励資金支出	0	0	0	
(2) 総会学術集会等準備資金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	11,269,150	0	△ 11,269,150	
当期収支差額	△ 13,069,150	△ 99,219	12,969,931	
前期繰越収支差額	13,069,150	15,544,409	2,475,259	
次期繰越収支差額	0	15,445,190	15,445,190	

日本放射線技術学会中部支部 2023 年度研究会活動報告

◆放射線防護研究会◆

代表世話人 上野 博之 高岡市民病院 (北陸ブロック)
 伊藤 祐介 大雄会第一病院 (東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

臨床業務に有益な医療放射線防護関連の情報提供、放射線管理に必要な線量測定技術の実技指導を行い、「現場で活(い)きる」知識、技術の向上に貢献する。

2. 年度内の活動記録

2024年度は放射線計測の基礎を学ぶセミナーを7月に、線量計の体験セミナーを12月に行った。

3. 最近のトピックス

ICRPにおいて次期主勧告へ向けてのタスクグループが設置されはじめ、それに伴う議論が活発に行われてきている。これらの最新の知見について関心が高まっている。

4. 今後の研究会の予定

放射線防護を考える上で線量を正しく評価する必要がある。線量評価法には種々あるが、線量計を用いた実測定が基本である。近年、測定器の技術進歩により廉価で高精度、一度の照射で複数種類の測定値が得られるものが普及しつつある。本研究会では現在までに様々な線量計の特性や取り扱い・測定値の意味などを考え、適切な取り扱いと測定法を理解していただくための実習形式のセミナーを実施してきた。2023年度は線量計の取り扱いに関するセミナーを行ったが、2024年度は線量計から得られたデータの取り扱いや計算方法に関する対面式のセミナーの企画を検討している。開催時期は関係者と調整しており、決定次第ホームページなどで紹介する。

◆アンギオ研究会◆

代表世話人 石崎 宗一郎 済生会 富山病院 (北陸ブロック)
 水 井 雅人 大和会 日下病院 (東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

本研究会は、会員の皆さんと共に学び合える会を目指しています。IVRを中心に日進月歩の手技から、機器の管理・医療被ばくの最適化に必要とされる知識の普及、被ばく低減につながる診療補助が行えるよう、情報発信を行って居ます。診療放射線技師だからこそできる役割の普及に加え、各研究会とも連携してより良い医療の提供を目的としています。

2. 年度内の活動記録

2024[令和5]年度は研究会を2回開催しました。

第1回は2023年6月に『体幹部+四肢のIVRを考える』をテーマに愛知医科大学たちばなホールをメイン会場に、ハイブリッド+オンデマンド開催で行いました。第1部はTEVAR/EVAR：臨床編、エンドリーク：CTフォロー編と題して、技術講演を戴きました。教育講演は「症例から学ぶEVTの基礎知識」、「救急IVRに“ハイブリッドERシステム”は必要か??」と題して2講演を戴きました。特別講演は「救急医療におけるIVRの活用方法」と題して藤田医科大学病院 高度救命救急センター船曳先生を講師にお招きしご講演戴きました。体幹部・四肢・救命救急と幅広く学ぶことができる機会となりました。(201名参加)

第2回は2023年12月に『血管造影・IVRの画像評価を考える』をテーマにオンライン+オンデマンドで開催しました。こちらは研究会後のアンケートに多く頂いた意見を参考に企画を致しました。第1部は技術講演として「今、改めてステント描出のテクニックを考える」と題してステントを用いる血管領域IVRに関するテクニックを解説戴きました。第2部は「知っておきたいデジタルX線画像系の物理的画質評価」「血管撮影・IVR領域に於ける画質評価と造影剤の特性」と題して教育講演を2題戴きました。いずれもアンケートの声から「学会に行かないと聞けないテクニックを拝聴出来て良かった」「普段の臨床では聞く事が出来ない内容の講義で興味深かった」と好評を戴きました。(200名参加)

3. 最近のトピックス

当会では研究会開催後にアンケートを実施しております。開催日時や方法、テーマなど、参加者の皆様から戴いたご意見を参考に柔軟な研究会運用を行っております。今後も皆様に必要とされる会を目指して運営を行ってまいります。ぜひお気軽にご参加ください。

4. 今後の研究会開催予定

【2024年第1回研究会のご案内】 脳血管内治療領域の技術・知識の向上を目指してスペシャルゲスト「亀田メディカルセンター脳血管内治療科：田中美千裕先生」をお迎えして開催いたします。脳

血管内治療のお話は勿論、機能解剖学等、非常に興味深い内容でご講演戴く予定にしています。CT・Angio 技術の講師も交えてディスカッションする企画を計画しておりますので、詳しくは中部支部ホームページでご案内致します。是非ご参加ください！

◆2024年5月11日(土)午後 名古屋駅前を会場に、ハイブリッド開催を予定しております。

◆放射線治療研究会◆

代表世話人 小島 礼慎 金沢大学附属病院 (北陸ブロック)
 青山 貴洋 愛知県がんセンター (東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

- ・ 中部地区の各県・各地域において研究会を対面開催することで、会員相互の交流を深め、地域連携の活性化を促すとともに、放射線治療技術等の向上や医療格差の均てん化を図る
- ・ 時代のニーズや環境に合わせて研究会をWEB開催することで、移動に時間やお金がかかる遠方の会員、出産・育児や病気等で現地に足を運ぶことが困難な会員にとっても有意義な情報や知見が手に入る研究会を目指す
- ・ 放射線治療の最新機器・最新情報の提供をはじめ、品質管理・品質保証、照射技術、他職種や他モダリティの内容を積極的に取り入れた横断的な研究会テーマ・プログラムを企画する

2. 年度内の活動記録

- ・ 2023年12月 令和5年度 愛知県放射線治療研究会 159名
- ・ 2024年1月 令和5年度 JSRT 中部支部放射線治療研究会 Web セミナー 155名

参加者の皆様には、両セミナーともに、企画・テーマや研究会への満足度、今後の研究会に関するアンケートへの回答にご協力を賜りました。アンケート結果は今後の運営やテーマの選定に反映できるよう努めて参ります。ご講演いただいた講師の先生方、ご参加いただいた皆様には、この場を借りて深く御礼を申し上げます。

3. 最近のトピックス

2023年12月15日に放射線医療技術学叢書(40)「実践 IGRT」が発刊されました。放射線医療技術学叢書33「放射線治療における位置照合とセットアップの実際」が発刊されてから8年が経過し、この間に進歩した新たな技術や知見を盛り込み、より臨床現場で実践的に活用できる内容となっています。今後は、本書を題材にしたセミナーや学会が多く企画される予定となっています。

4. 今後の研究会の予定

- ・ 12月開催予定 愛知県放射線治療研究会 (Web)
- ・ 2025/1/18 予定 令和6年度 JSRT 中部支部放射線治療研究会 Web セミナー (Web)
- ・ 開催日未定 三重県放射線治療研究会 (対面)
- ・ 開催日未定 静岡県放射線治療研究会 (対面)

◆医療情報システム研究会◆

代表世話人 法橋 一生 静岡県立病院機構本部 (東海ブロック)
 大谷 友梨子 福井大学医学部附属病院 (北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

医療情報は単なる“IT 機器とデータの管理”だけでなく、医療情報システムで理想的なワークフローを実現する、業務の基盤を構築する領域です。これまで RIS/PACS を中心に業務の効率化と安全性の向上が進み、その範囲は地域連携、線量管理まで広がりました。また、いわゆるビッグデータを利用した臨床研究、業務分析、経営分析なども盛んです。さらに情報を扱うための個人情報保護などの理解を深めることも大切です。業務の根幹であるがゆえに災害やサイバー攻撃等の BCP でも重要な役割を求められます。

このように医療情報の学術領域は幅広く、工学などの自然科学だけでなく社会科学も含みます。当会では、入門者から実務に深く関わる方を対象としたセミナーを企画し、有益な情報を発信しています。

2. 年度内の活動記録

2023年度の研究会活動は行われませんでした。

3. 最近のトピックス

昨年度に引き続きサイバー攻撃への対策、特に画像系システムや医療機器を介したサイバー攻撃への対策が必要です。医用画像の領域は医療機器を中心にウイルス対策が困難で、リモート回線が接続されており、学術用の画像の入出力が頻回に行われるなど、医療施設では最もリスクの高い環境と運用となっています。これまでのセキュリティ対策の考え方の根本的な見直しが求められています。

DX (Digital Transformation) と呼ばれる IT による変革について、2023年3月に内閣官房医療DX推進本部から骨子案が報告されました。医用画像領域は医療の IT 化の先駆けであり、今後の医療 DX による変革の動向が注目されます。

4. 今後の研究会の予定

昨年度開催されなかったサイバー攻撃対策や BCP など、トレンドに合わせた研究会開催を予定しています。内容についてはあらためてお知らせします。

会場： 金沢大学医薬保健学域保健学類

「初歩の画像処理②（ノイズ低減処理、散乱線低減処理の原理と効果）、AI 技術を用いた画像処理の画質評価に関する内容」

◆MR 研究会◆

代表世話人	<u>村中 良之</u>	<u>福井県立病院</u>	(北陸ブロック)
	<u>梶田 公博</u>	<u>岐阜大学医学部附属病院</u>	(東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

- ・ MR に関する基礎知識および撮像技術を習得すること
- ・ 装置、検査方法に関する最新情報の収集と、その情報を会員に提供すること
- ・ MR 検査に携わる者に、情報・意見交換の場を提供すること
- ・ MR に関する安全情報を提供すること

2. 年度内の活動記録

8月19日に第80回MR研究会（北陸ブロック）を開催し、「MRA」をテーマに基礎講演、各部位での非造影MRAを中心に紹介していただきました。また富山県立中央病院最新MRの見学も行いました。

1月20日に第81回MR研究会（北陸ブロック）をWEBにて「造影MRを考える」をテーマに造影理論、各部位での造影のやり方を中心に話していただきました。技術講演としてエラストグラフィやAIに関して講演していただきました。

同日に第82回MR研究会（東海ブロック）を名古屋市立大学 桜山キャンパス開催しました。技術講演では「AI」、特別講演では「脊椎MRIの基礎と応用」をテーマとしました。またSpotlightセッションでは中部地区から全国に発信された各種演題を解説していただきました。

その他に昨年から引き続き中部支部若手育成セミナー応募者2名の研究支援を行いました。

3. 最近のトピックス

MRのトピックスとしては、高速撮像化とディープラーニングによるノイズ除去画像再構成を使い、より高速化に向かっている。

4. 今後の研究会の予定

- ・ 第83回MR研究会 8月3日（北陸 金沢市 石川県立中央病院）
- ・ 第84回MR研究会 12月頃（北陸 富山市）
- ・ 第85回MR研究会 1月頃（東海 名古屋市）

最近のCT分野の注目はDual Energy CTやPhoton counting CT等のX線エネルギーを利用したもの、再構成法にAI技術を利用したDeep Learning (Image) Reconstruction等があります。CT研究の幅は拡大を続けているのが現状です。日常で役に立つ撮影技術も開発も多く発表されています。

2021年度からは中部支部企画である若手研究者の育成セミナーのサポートを行い、CTをテーマとした若手研究者の研究を支援しました。直近では指導論文がRadiographyにアクセプトされました。

4. 今後の研究会の予定

東海ブロックでは「CT研究の最前線報告会」のほかに、「ビギナーズセミナー」や「CT関連論文の抄読会」を開催します。「ビギナーズセミナー」はパワーアップして「ブルードルフィンズセミナー」として中部支部画像部会とタッグを組み、CTと画像のビギナー向けハンズオンセミナーを夏に現地開催する予定です。是非ご参加ください。

北陸ブロックでは今年度中に“CT検査被ばくの最適化”をテーマとした「定例会」および2024年9月7日・8日に「CT technical boot camp」を開催いたしますので、是非ご参加ください。

また、中部支部企画である若手研究者の育成セミナーのサポートも引き続き行っていきます。ぜひ一緒に研究しましょう。

◆乳房画像研究会◆

代表世話人 西出 裕子 岐阜医療科学大学 (東海ブロック)
 高森 美保 とらたに整形外科 (北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

乳房の画像診断に関わるモダリティにおいて、最新的话题や会員が関心を持っている内容について取り上げ、講演や会員発表などを行います。

2. 年度内の活動記録

2023年度は、第58回研究会を対面で開催しました。活動の記録は、中部支部事業報告をご参照ください。

3. 最近のトピックス

令和6年度の診療報酬改定において、乳房トモシンセシスの加算が新設されました。乳房撮影（一連につき）について、乳房トモシンセシス撮影を行った場合は、乳房トモシンセシス加算として、100点が所定点数に加算されます。ますます、被ばく線量や画質に関する検討が求められます。

また、乳がん検診においてマンモグラフィと併用した乳腺超音波検査の導入にむけたシステムの品質管理や担当する医師、技師の講習会が加速しています。これには人的資源の確保が重要であり、マンモグラフィの所見を検出・評価できる診療放射線技師の方々の超音波検査への参画が期待されています。

4. 今後の研究会の予定

- ・ 第59回乳房画像研究会
日時：6月23日（土）
Hybrid 開催
- ・ 第60回乳房画像研究会
日時：10月頃（予定）
開催場所：名古屋市内

◆核医学研究会◆

代表世話人 市川 肇 豊橋市民病院 (東海ブロック)
 澁谷 孝行 金沢大学医薬保健研究域 (北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

中部支部核医学研究会は地域に密着して多様化したニーズに対応した活動を目指しております。核医学部会と連携して核医学技術のボトムアップおよび地域のリーダーの育成を目的としております。

2. 年度内の活動記録

「0からはじめる SIMIND シミュレーション」をテーマに第6回中部核医学セミナーを7月に刈谷市総合文化センターで開催し、SIMIND をハンズオン形式で習得しました。

「論文投稿 これを知っていれば怖くない！～投稿時に知っておきたい ABC～」をテーマに12月に第7回中部核医学セミナーをオンラインで開催しました。

中部支部若手育成セミナーの応募者1名の研究支援活動を協同しました(第51回日本放射線技術学会秋季学術大会1演題、第14回中部放射線医療技術学術大会2演題)。

3. 最近のトピックス

核医学部会との連携強化を図り、より高度な会員のニーズに対応できる体制の強化を目指します。中部放射線医療技術学術大会での核医学懇親会を開催し、地域の人材発掘とコミュニケーション強化を進めます。

4. 今後の研究会の予定

第8回中部核医学セミナー

テーマ：初めての統計学 基礎から統計ソフトの使用法まで

日時：2024年7月28日(日)

会場：じゅうろくプラザ

2024年度 中部支部事業計画

1. 第58回日本放射線技術学会中部支部学術大会（第16回中部放射線医療技術学術大会）を開催する。
会期：2024年12月7日（土）～12月8日（日）
会場：じゅうろくプラザ（岐阜市）
2. 2024年度第1回支部学術セミナーを開催する。
会期：2024年6月（予定）
会場：未定（金沢市）または Web 開催
3. 2024年度第2回支部学術セミナーを開催する。
会期：2025年1月（予定）
会場：未定（名古屋市）または Web 開催
4. 2024年度 CT technical boot camp を開催する。（日本 CT 技術学会共催）
会期：2024年9月7日（土），8日（日）（予定）
会場：金大病院 CPD センター
5. 2024年度若手研究者のための中部支部ステップアップセミナーを開催する。
会期：2023年5月（予定）
会場：Web 開催
定員：20名
6. 2024年学生向けセミナーを開催する。
会期：2023年4，8，12月（予定）
会場：Web 開催および現地開催（岐阜市）
定員：200名
7. 第96回乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会を開催する。
（教育委員会，撮影部会，NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構共催）
会期：2024年 未定
会場：名古屋医療センター（未定）
定員：48名
8. 支部技術セミナーの開催（年20回程度開催予定）の開催
CT 研究会，MR 研究会，画像研究会，医療情報システム研究会，乳房画像研究会，
放射線防護研究会，放射線治療研究会，アンギオ研究会，超音波画像研究会，核医学研究会，
全10研究会による開催。

9. 刊行物の発刊

- (1) タイトル：中部支部誌 Vol. 26
発刊日：2024年4月
- (2) タイトル：支部ニューズレター “ビーム中部2024年第1号, CCRT 演題募集号”
発刊日：2024年6月
- (3) タイトル：支部ニューズレター “ビーム中部2024年第2号, CCRT プログラム号”
発刊日：2024年10月

10. 支部表彰について

規程に基づき、功労賞、奨励賞、CCRT 大会賞の選考および学術大会にて表彰を行う。

11. 国際学会発表者支援事業について

国際学会発表者に対し、規程に基づき助成金を交付する。

2024年度 中部支部収支予算書

2024年4月1日から2025年2月末日まで

2024年度 中部支部収支予算書

2024年3月1日から2025年2月末日まで

(単位：円)

科 目	2024年度予算額	2023年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入	0	0	0	
(1) 研究奨励資金運用収入			0	
(2) 総会学術集会等準備資金運用収入			0	
2) 会費収入	6,000,000	6,000,000	0	
(1) 支部正会員通常会費	5,000,000	5,000,000	0	
(2) 特別会費収入(支部学術集会)	1,000,000	1,000,000	0	
(3) 特別会費収入(定期研究発表会)	0	0	0	
3) 事業収入	1,800,000	2,000,000	△ 200,000	
(1) 広告料収入	0	0	0	
(2) 研修会等収入	800,000	800,000	0	
(3) 学術大会事業収入	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
4) 補助金等収入	1,950,000	2,150,000	△ 200,000	
(1) 本部支部助成金収入	1,950,000	2,150,000	△ 200,000	
(2) 地方公共団体助成金収入	0	0	0	
(3) 民間補助金収入	0	0	0	
5) 負担金収入	0	0	0	
(1) 負担金収入	0	0	0	
6) 寄付金収入	0	0	0	
(1) 寄付金収入	0	0	0	
7) 雑収入	5,000	5,000	0	
(1) 利息収入	3,000	3,000	0	
(2) 雑収入	2,000	2,000	0	
事業活動収入計	9,755,000	10,155,000	△ 400,000	
2. 事業活動支出				
1) 事業費	10,130,000	10,330,000	△ 200,000	
(1) 支部学術集会費	4,400,000	4,400,000	0	
① 会議費	300,000	300,000	0	
② 旅費交通費	450,000	450,000	0	
③ 通信運搬費	50,000	50,000	0	
④ 消耗品費	50,000	50,000	0	
⑤ 印刷製本費	500,000	500,000	0	
⑥ 賃借料	800,000	800,000	0	
⑦ 諸謝金	150,000	150,000	0	
⑧ 委託費	2,000,000	2,000,000	0	
⑨ 雑費	100,000	100,000	0	
(2) 定期研究発表会費	0	0	0	
① 会議費	0	0	0	
② 旅費交通費	0	0	0	
③ 通信運搬費	0	0	0	
④ 消耗品費	0	0	0	
⑤ 印刷製本費	0	0	0	
⑥ 賃借料	0	0	0	
⑦ 諸謝金	0	0	0	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	0	0	0	
(3) 表彰費	400,000	400,000	0	
① 表彰費	200,000	200,000	0	
② 学術研究助成金	200,000	200,000	0	
③ 雑費	0	0	0	

(4) 講演会等開催費	1,970,000	1,970,000	0	
① 会議費	150,000	150,000	0	
② 旅費交通費	700,000	700,000	0	
③ 通信運搬費	200,000	200,000	0	
④ 消耗品費	100,000	120,000	△ 20,000	
⑤ 印刷製本費	200,000	200,000	0	
⑥ 賃借料	300,000	300,000	0	
⑦ 諸謝金	100,000	100,000	0	
⑧ 委託費	200,000	0	200,000	
⑨ 雑費	20,000	200,000	△ 180,000	
(5) 広報・会誌費	1,000,000	1,000,000	0	
① 通信運搬費	0	0	0	
② 印刷製本費	0	0	0	
③ 諸謝金	0	0	0	
④ 委託費	1,000,000	1,000,000	0	
(6) 調査研究費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	
① 会議費	300,000	600,000	△ 300,000	
② 旅費交通費	1,000,000	900,000	100,000	
③ 通信運搬費	30,000	30,000	0	
④ 消耗品費	100,000	100,000	0	
⑤ 印刷製本費	100,000	100,000	0	
⑥ 賃借料	120,000	120,000	0	
⑦ 諸謝金	300,000	300,000	0	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	50,000	50,000	0	
(7) 諸委員会費	310,000	310,000	0	
① 企画委員会	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
② 編集委員会費	30,000	30,000	0	
(会議費)	30,000	30,000	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
③ 大会開催委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
④ 表彰委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑤ 広報委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑥ 財務委員会費	150,000	130,000	20,000	
(会議費)	30,000	30,000	0	
(旅費交通費)	120,000	100,000	20,000	
(雑費)	0	0	0	
⑦ 総務委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑧ 特別委員会費	130,000	150,000	△ 20,000	学術委員会
(会議費)	30,000	100,000	△ 70,000	
(旅費交通費)	100,000	50,000	50,000	
(雑費)	0	0	0	
⑨ 委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
(8) 雑費	50,000	50,000	0	
① 事業雑費	50,000	50,000	0	

2) 管理費	2,125,000	1,625,000	500,000
(1) 給料手当	0	0	0
(2) 臨時雇用費	0	0	0
(3) 福利厚生費	0	0	0
(4) 会議費	120,000	120,000	0
(5) 旅費交通費	1,500,000	1,000,000	500,000
(6) 通信運搬費	20,000	20,000	0
(7) 消耗什器備品費	200,000	200,000	0
(8) 消耗品費	35,000	35,000	0
(9) 修繕費	0	0	0
(10) 印刷製本費	20,000	20,000	0
(11) 光熱水料費	0	0	0
(12) 賃借料	150,000	150,000	0
(13) 保険料	0	0	0
(14) 諸謝金	0	0	0
(15) 租税公課	0	0	0
(16) 負担金（支払手数料・事務所負担金）	30,000	30,000	0
(17) 委託費	0	0	0
(18) 減価償却費	0	0	0
(19) 管理雑費	50,000	50,000	0
事業活動支出計	12,255,000	11,955,000	300,000
事業活動収支差額	△ 2,500,000	△ 1,800,000	△ 700,000
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
1) 特定資産取崩収入	0	0	0
(1) 研究奨励資金取崩収入	0	0	0
(2) 総会学術集会等準備資金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
1) 固定資産取得支出	0	0	0
(1) 什器備品購入支出	0	0	0
2) 特定資産取得支出	0	0	0
(1) 研究奨励資金支出	0	0	0
(2) 総会学術集会等準備資金支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	12,945,190	11,269,150	1,676,040
当期収支差額	△ 15,445,190	△ 13,069,150	△ 2,376,040
前期繰越収支差額	15,445,190	13,069,150	2,376,040
次期繰越収支差額	0	0	0

2024 年度中部支部役員名簿

支部長	大橋 一也 (名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院)
副支部長	國友 博史 (藤田医科大学)
	高田 忠徳 (金沢大学附属病院)
	永澤 直樹 (鈴鹿医療科学大学)
支部監事	松浦 幸広 (金沢大学附属病院)
	小山 修司 (名古屋大学 大学院医学系研究科)
理 事	
・庶務	加藤 勝也 (名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院)
・庶務	能登 公也 (金沢大学附属病院)
・庶務	山田 薫 (聖隷浜松病院)
・財務	木戸屋 栄次 (福井大学医学部附属病院)
・財務	小林 謙一 (藤田医科大学病院)
・財務	嶋田 真人 (福井大学医学部附属病院)
・愛知県	西本 卓矢 (名古屋大学医学部附属病院)
・岐阜県	廣田 真 (岐阜大学医学部附属病院)
・三重県	山崎 暁夫 (三重大学医学部附属病院)
・静岡県	野村 孝之 (浜松医科大学医学部附属病院)
・福井県	村中 良之 (福井県立病院)
・石川県	三浦 淳也 (石川県立中央病院)
・富山県	白崎 展行 (富山大学附属病院)
・研究会	村中 良之 (福井県立病院)
・研究会	法橋 一生 (静岡県立病院機構本部)

2024年度中部支部研究会世話人名簿

研究会代表世話人	
CT 研究会	永澤 直樹 (鈴鹿医療科学大学)
	高田 忠徳 (金沢大学附属病院)
MR 研究会	村中 良之 (福井県立病院)
	梶田 公博 (岐阜大学医学部附属病院)
医療情報システム研究会	法橋 一生 (静岡県立病院機構本部)
	大谷 友梨子 (福井大学医学部附属病院)
画像研究会	東出 了 (鈴鹿医療科学大学)
	市川 勝弘 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)
放射線治療研究会	小島 礼慎 (金沢大学附属病院)
	青山 貴洋 (愛知県がんセンター)
乳房画像研究会	西出 裕子 (岐阜医療科学大学)
	餅谷 裕子 (金沢大学附属病院)
放射線防護研究会	上野 博之 (高岡市民病院)
	伊藤 祐介 (総合大雄会病院)
アンギオ研究会	石崎 宗一郎 (富山県済生会富山病院)
	水井 雅人 (鈴鹿回生病院)
超音波画像研究会	山村 博 (金沢医科大学病院)
	安本 浩二 (三重県立総合医療センター)
核医学研究会	市川 肇 (豊橋市民病院)
	澁谷 孝行 (金沢大学医薬保健研究域保健学系)
サーバの管理	高田 忠徳 (金沢大学附属病院)
事務局	高木 雅悠 (藤田医科大学病院)
財務委員補佐	高木 雅悠 (藤田医科大学病院)

2023 年度学会表彰者

中部支部で以下の方々が表彰されました。

おめでとうございます。

2023 年度本部表彰者

滝内賞

川嶋 広貴

金沢大学

研究奨励賞

技術奨励賞 (核医学分野)

山下 匠造

公立松任石川中央病院

技術奨励賞 (治療分野)

林 直樹

藤田医科大学

技術奨励賞 (計測分野)

坂本 昌隆

浜松医科大学医学部附属病院

研究奨励賞

技術新人賞 (治療分野)

齋藤 龍典

聖隷浜松病院

技術奨励賞 (計測分野)

瀬川 恵子

金沢大学附属病院

2023 年度中部支部表彰者

功労賞

小山 修司

名古屋大学

奨励賞

大谷 昂

福井大学医学部附属病院

岩倉 圭佑

焼津市立総合病院

坂本 昌隆

浜松医科大学医学部附属病院

山下 勝礼

浜松医科大学医学部附属病院

高田 圭

富山大学附属病院

瀬川 恵子

金沢大学附属病院

熊原 成美

金沢大学附属病院

山下 匠造

公立松任石川中央病院

齋藤 龍典

聖隷浜松病院

2022年 3月 4日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2023年度 第1回日本放射線技術学会中部支部総務委員会		
開催日時	2023年3月4日(土) 13時～15時	開催場所	福井 AOSSA 601BC 研修室
出席者名	出席者: 國友博史、大橋一也、木戸屋栄次、小林謙一、永澤直樹、村中良之、嶋田真人、高木雅悠、加藤勝也 合計9名 欠席者: 高田忠徳、能登公也、小林正尚、山田薫 合計4名		
議長・司会	大橋一也	報告者名	加藤勝也
議題 (項目のみとし、審議内容および結果については2号用紙に記入する)			
議題			
0	本部理事会報告 (國友支部長)		
1	2023年度支部役員体制 (國友支部長) (資料1)		
2	2-1. 2022年度事業報告および2023年度事業計画 (國友支部長) (資料2-1-1, 2-1-2)		
	2-2. 2023年度中部支部理事会候補日 (大橋副支部長) (資料2-2)		
3	第56回中部支部学術大会 (第14回中部放射線医療技術学術大会) 開催報告 (國友大会長) (資料3)		
4	第57回中部支部学術大会 (第15回中部放射線医療技術学術大会) 準備報告 (村中大会長) (資料4)		
5	CCRT運営委員会について (國友支部長)		
	5-1. CCRT運営委員会規約改定 (資料5-1-1, 5-1-2)		
	5-2. 次年度CCRT運営委員会委員 (資料5-2)		
	5-3. 倫理審査委員会 (委員長の選任) (資料5-3)		
	5-4. 事務局の交代について (技術学会側: 2024年度から)		
6	6-1. 財務委員報告 (小林財務) (資料6-1-1, 6-1-2)		
7	学術委員会報告 (大橋副支部長) (資料7)		
	7-1. 2023年度学術セミナー・本部共催学術企画計画等 (資料7-1-1, 7-1-2)		
	7-2. 2023年度若手育成セミナー開催計画 (資料7-2)		
	7-3. 研究会開催計画について (山田庶務) (資料7-3)		
8	編集委員会報告 (高田副支部長) (資料8)		
9	第51回秋季学術大会準備報 (國友支部長) (資料9)		
10	その他 10-1. バーコードリーダーの管理について (資料10-1)		
	10-2. 次年度の中部支部webシステムについて (teams, ZOOMの運用)		

<p>議題0</p>	<p>本部理事会について國友支部長より報告がされた。 北陸 CT 研究会が 2022 年度梅谷賞を受賞。 RacNeAPP 運用開始。今後は会員カードの発行はない。 内規の改訂予定で会員にも謝金が支払いできる予定。 本部の赤字がおおくなり、また、支部の遊休財産の保有状況から次年度の支部への補助金を減額する予定である。 RPT が6月にインパクトファクターが発表される。 JJRS 運用に関して、キャンセルに対応することが非常に煩雑。基本的にはキャンセルを受けないように注意喚起する。もし行うならば支部→本人へ返金し、本部→支部に費用を振り込むような対応になる。</p> <p>《質疑等》 (大橋)本部の赤字の原因は－(國友)財務の報告がまだなので詳細は不明だが、ハイブリッドシステム等に費用を使ったのではないかとされる。 (木戸屋)支部 HP の統一のための改修はいつごろになりそうか－(國友)まだかかりそうである。－(木戸屋)まだまだかかりそうならば支部の予算があるうちに独自に行うなどの対応をしたい。(國友)本部への統合することが決まっているため、移行のめどについて再度確認をする。</p>
<p>議題1</p>	<p>2023 年度支部役員体制について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 1) 支部長:大橋一也 副支部長:國友博史 副支部長:永澤直樹 財務:嶋田真人(小林正尚財務退任) 三重県理事:山崎暁夫</p> <p>《質疑等》 (國友)藤田医科高木先生は財務の補佐として活動していただきます。</p>
<p>議題2</p>	<p>2-1. 2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 2-1-1, 2-1-2) 研究会開催回数, 参加人数等がコロナ前の水準にまで戻ってきている。</p> <p>2-2. 2023 年度中部支部理事会候補日について大橋副支部長より提案がされた。(資料 2-2) 候補日は以下の通り。 第 2 回 日時 2023 年 6 月 3, 10, 17 日(土) 15:00→6 月 10 日(土)で決定。 開催地 福井</p>

	<p>第3回 日時 2023年9月9, 16, 23日(土) 15:00 →CCRTの都合で10月14日(土)で決定. 開催地 名古屋</p> <p>第4回 日時 2023年11月25-26日 CCRT時 開催地 福井</p> <p>2024年度 第1回 日時 2024年3月2, 9日(土)→監査の都合で3月2日(土)で決定. 開催地 福井</p> <p>諸々の事情を勘案し, 以下の日程で行うこととなった. 第2回→6月10日(土) 15:00 福井 →理事会にて5/27AM 金沢開催に変更. 第3回→10月14日(土) 15:00 名古屋 第4回→11月25-26日 CCRT会期内 福井 2024年度 第1回→2024年3月2日(土) 15:00 福井</p> <p>《質疑等》 特になし.</p>
<p>議題3</p>	<p>第56回中部支部学術大会(第14回中部放射線医療技術学術大会について國友支部長より資料の通りに開催報告がされた。(資料3) CCRTでは初めてのハイブリッド開催であり、新型コロナウイルスの感染状況が見通せない中で、総参加者数 732名(現地参加者数 639名、オンデマンド参加者数 93名)と新型コロナウイルスによる影響を感じさせないほどの多くの参加して頂き、どの会場も大変盛況でありました。今大会を大きなトラブルもなく、成功裡に終えることができたことは、多くの関係各位の皆様のご協力であったからだと思っております。この場を借りて、改めて、御礼申し上げます。</p> <p>《質疑等》 (國友)JJJRSの会計が15日締めとなるため、振り込まれるのが遅くなるので気を付けたほうがよい.</p>
<p>議題4</p>	<p>第57回中部支部学術大会(第15回中部放射線医療技術学術大会)について村中大会長より準備報告がされた. 大会長:山崎 巖(市立敦賀病院)</p>

	<p>副大会長:村中 良之(福井県立病院) 実行委員長:佐々木 基充(中村病院) 会場:AOSSA6階, 8階 オンデマンドは未定. ポスター完成(前年度の愛知県に倣い, 各県の技師会, 技術学会員の施設に郵送予定) HPは新年度5月に開設予定 ランチョン, 企業展示の募集を開始し数件の申し込みがあった.</p> <p>〈質疑等〉 特になし.</p>
<p>議題 5</p>	<p>CCRT 運営委員会について國友支部長より資料の通り報告がされた.</p> <p>5-1. CCRT 運営委員会規約改定 (資料 5-1-1, 5-1-2) 変更点 第10条1. 両会より大会長1名、異なる会より副大会長1名を、運営委員会にて選出する。ただし、各県で2回開催するごとに各会が1回ずつ大会長を務めるものとする。(令和5年度(3順目)より適用する) 第10条2. 削除</p> <p>5-2. 次年度 CCRT 運営委員会委員 (資料 5-2)</p> <p>5-3. 倫理審査委員会 (委員長の選任) (資料 5-3) 倫理審査委員長を</p> <p>5-4. CCRT 運営委員会事務局の交代について (技術学会側: 2024年度から) 事務局の担当は7年で交代する約束となっているので、2024年度からは技術学会側が担当する。(現在は技師会側: 岐阜医療科学大学 杉浦明弘先生) 大橋新支部長が指名することとなった.</p> <p>〈質疑等〉 (國友) 愛知, 石川, 福井以外は技術学会側の理事等が少ない県もあるので, 中部支部理事会としても意識的にサポートしてください.</p>
<p>議題 6</p>	<p>6-1. 財務委員報告について小林財務より資料の通り報告がされた。(資料 6-1-1, 6-1-2)</p> <p>収入 10,625,116 円 支出 8,949,857 円</p>

	<p>当期収支差額 1,675,259 円 会場参加型の旅費交通費と Web 参加型の Web 会議費は領収証の記載項目が異なるので、兼用したり、変更したりしないように、不要なことは記載しない。</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>
<p>議題 7</p>	<p>学術委員会報告について大橋副支部長より報告がされた。(資料 7) 学術委員長を大橋副支部長から永澤新副支部長に交代する。</p> <p>7-1. 2023 年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等 (資料 7-1-1,7-1-2) 6 月は北陸、1 月は東海で開催する。</p> <p>7-2. 2023 年度若手育成セミナー開催計画 (資料 7-2) 春の総会のチラシを置けるか確認する。 若手育成セミナーの継続の会員について、毎年更新のような形にしたい。</p> <p>7-3. 研究会開催計画について (山田庶務) (資料 7-3)</p> <p>《質疑等》 (國友) 学術セミナー等、ハイブリッド開催用の資機材をアンギオ研究会の石崎代表のご厚意によるところが大きいので、支部としても対応を検討する。 (木戸屋) 若手育成セミナーは周りの会員にも非常に良い刺激となり、良い企画である。 (國友) 若手育成セミナー参加者の成果を HP に掲載するようにしたい。</p>
<p>議題 8</p>	<p>編集委員会報告 (高田副支部長) (資料 8) 本年度も支部会誌 1 回、ビーム中部 2 回の発刊を実施。 支部会誌発刊は 4 月第 1 週を予定。 支部会誌用データを担当の方は用意してください。</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>
<p>議題 9</p>	<p>第 51 回秋季学術大会準備報告について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 9)</p>

	<p>9)</p> <p>開催方式：現地開催＋現地収録映像のオンデマンド配信</p> <p>日時：2023年10月27日（金）～29日（日）</p> <p>会場：名古屋国際会議場</p> <p>〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号</p> <p>≪質疑等≫</p> <p>（小林）正会員はGo to JSRTキャンペーンで1,000円引きの9,000円となる。</p>
議題 10	<p>その他</p> <p>10-1. バーコードリーダーの管理について國友支部長より資料の通り報告がされた。（資料10-1）</p> <p>超音波研究会預かりのバーコードリーダーは江端先生の管理しているものを木戸屋財務に郵送してもらい、そのまま預かってもらう。</p> <p>10-2. 次年度の中部支部 web システム（teams、ZOOM の運用）について國友支部長より資料の通り報告がされた。</p> <p>Zoom を2ライセンスにする方向。</p> <p>≪質疑等≫</p> <p>特になし。</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023年3月14日

支部長 國友博史 

2022年 3月 4日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2023年度 第1回日本放射線技術学会中部支部理事会		
開催日時	2023年3月4日(土) 15時~17時	開催場所	福井 AOSSA 601BC 研修室
出席者名	出席者:松浦幸広、小山修司、國友博史、大橋一也、木戸屋栄次、小林謙一、西本卓矢、廣田真、永澤直樹、野村孝之、村中良之、三浦淳也、白崎展行、東出了、西出裕子、上野博之、石崎宗一郎、市川肇、嶋田真人、高木雅悠、加藤勝也 合計21名 欠席者:高田忠徳、能登公也、小林正尚、山田薫、法橋一生、坂倉正樹 合計6名		
議長・司会	大橋一也	報告者名	加藤勝也
議題(項目のみとし、審議内容および結果については2号用紙に記入する)			
議題			
0	本部理事会報告(國友支部長)		
1	2023年度支部役員体制(國友支部長)(資料1)		
2	2-1. 2022年度事業報告および2023年度事業計画(國友支部長)(資料2-1-1, 2-1-2)		
	2-2. 2023年度中部支部理事会候補日(大橋副支部長)(資料2-2)		
3	第56回中部支部学術大会(第14回中部放射線医療技術学術大会)開催報告(國友大会長)(資料3)		
4	第57回中部支部学術大会(第15回中部放射線医療技術学術大会)準備報告(村中大会長)(資料4)		
5	CCRT運営委員会について(國友支部長)		
	5-1. CCRT運営委員会規約改定(資料5-1-1, 5-1-2)		
	5-2. 次年度CCRT運営委員会委員(資料5-2)		
	5-3. 倫理審査委員会(委員長の選任)(資料5-3)		
	5-4. 事務局の交代について(技術学会側:2024年度から)		
6	6-1. 財務委員報告(小林財務)(資料6-1-1, 6-1-2)		
	6-2. 2022年度会計監査報告(松浦監事)(資料6-2)		
7	学術委員会報告(大橋副支部長)(資料7)		
	7-1. 2023年度学術セミナー・本部共催学術企画計画等(資料7-1-1,7-1-2)		
	7-2. 2023年度若手育成セミナー開催計画(資料7-2)		
	7-3. 研究会開催計画について(山田庶務)(資料7-3)		
	7-4. 研究会活動計画(各研究会代表)(資料7-4)		
8	編集委員会報告(高田副支部長)(資料8)		
9	第51回秋季学術大会準備報(國友支部長)(資料9)		
10	その他 10-1. バーコードリーダーの管理について(資料10-1)		
	10-2. 次年度の中部支部webシステムについて(teams、ZOOMの運用)		

<p>議題0</p>	<p>本部理事会について國友支部長より報告がされた。 北陸 CT 研究会が 2022 年度梅谷賞を受賞。 RacNeAPP 運用開始. 今後は会員カードの発行はない。 内規の改訂予定で会員にも謝金が支払いできる予定。 本部の赤字がおおくなり、また、支部の遊休財産の保有状況から次年度の支部への補助金を減額する予定である。 RPT が6月にインパクトファクターが発表される。 JJRS 運用に関して、キャンセルに対応することが非常に煩雑. 基本的にはキャンセルを受けないように注意喚起する. もし行うならば支部→本人へ返金し、本部→支部に費用を振り込むような対応になる。 デジタルコンテンツ関連(著作権等)講習会に高田副支部長、永澤理事が参加. 運営で困ったことがあれば両氏に問い合わせしてください。</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>
<p>議題1</p>	<p>2023 年度支部役員体制について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 1) 支部長:大橋一也 副支部長:國友博史 副支部長:永澤直樹 財務:嶋田真人(小林正尚財務退任) 三重県理事:山崎暁夫</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>
<p>議題2</p>	<p>2-1. 2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 2-1-1, 2-1-2) 研究会開催回数, 参加人数等がコロナ前の水準にまで戻ってきている。</p> <p>(資料 2-1-1)9. 7) 第 7 回技術セミナー (放射線防護研究会) に訂正 (資料 2-1-1)9. 16) 以降を 2023 年に訂正。</p> <p>2-2. 2023 年度中部支部理事会候補日について大橋副支部長より提案がされた。(資料 2-2) 候補日は以下の通り。 第 2 回 日時 2023 年 6 月 3, 10, 17 日(土) 15:00</p>

	<p>開催地 福井</p> <p>第3回 日時 2023年9月9, 16, 23日(土) 15:00 開催地 名古屋</p> <p>第4回 日時 2023年11月25-26日 CCRT時 開催地 福井</p> <p>2024年度 第1回 日時 2024年3月2, 9日(土) 開催地 福井</p> <p>諸々の事情を勘案し、以下の日程で行うこととなった。 第2回→6月10日(土) 15:00 福井→5月27日(土)AM 金沢にて理事会 第3回→10月14日(土) 15:00 名古屋 第4回→11月25-26日 CCRT会期内 福井 2024年度 第1回→2024年3月2日(土) 15:00 福井</p> <p>《質疑等》 マルチモダリティシンポジウム versus が6/10に開催されるため第2回の日程変更が必要となった。金沢の支部学術セミナーと併せて開催する方向で調整し、5月27日(土)AM 金沢にて理事会、PMに支部学術セミナー</p>
<p>議題3</p>	<p>第56回中部支部学術大会(第14回中部放射線医療技術学術大会について國友支部長より資料の通りに開催報告がされた。(資料3)</p> <p>CCRTでは初めてのハイブリッド開催であり、新型コロナウイルスの感染状況が見通せない中で、総参加者数 732名(現地参加者数 639名、オンデマンド参加者数 93名)と新型コロナによる影響を感じさせないほどの多くの参加して頂き、どの会場も大変盛況でありました。今大会を大きなトラブルもなく、成功裡に終えることができたことは、多くの関係各位の皆様のご協力であったからだと思っております。この場を借りて、改めて、御礼申し上げます。</p> <p>《質疑等》 (小林財務)大会としての表彰は納税が必要となるなど、支部年会の表彰とは異なるので、福井大会で行う場合は慎重に行う必要がある。</p>

<p>議題 4</p>	<p>第 57 回中部支部学術大会(第 15 回中部放射線医療技術学術大会)について村中大会長より資料の通りに準備報告がされた。(資料 4)</p> <p>大会長:山崎 巖(市立敦賀病院)</p> <p>副大会長:村中 良之(福井県立病院)</p> <p>実行委員長:佐々木 基充(中村病院)</p> <p>会場:AOSSA6階, 8階</p> <p>オンデマンドは未定.</p> <p>ポスター完成(前年度の愛知県に倣い, 各県の技師会, 技術学会員の施設に郵送予定)</p> <p>HP は新年度5月に開設予定</p> <p>ランチョン, 企業展示の募集を開始し数件の申し込みがあった.</p> <p>《質疑等》</p> <p>特になし.</p>
<p>議題 5</p>	<p>CCRT 運営委員会について國友支部長より資料の通り報告がされた.</p> <p>5-1. CCRT 運営委員会規約改定 (資料 5-1-1, 5-1-2)</p> <p>変更点</p> <p>第 10 条 1. 両会より大会長 1 名、異なる会より副大会長 1 名を、運営委員会にて選出する。ただし、各県で 2 回開催するごとに各会が 1 回ずつ大会長を務めるものとする。(令和 5 年度(3 順目)より適用する)</p> <p>第 10 条 2. 削除</p> <p>5-2. 次年度 CCRT 運営委員会委員 (資料 5-2)</p> <p>CCRT の監事を小山先生から松浦先生に交代する.</p> <p>5-3. 倫理審査委員会 (委員長の選任) (資料 5-3)</p> <p>技術学会から委員長を選出することとなったため、倫理審査委員長を國友支部長が行うことが提案され、異論なく承認された.</p> <p>5-4. CCRT 運営委員会事務局の交代について (技術学会側 : 2024 年度から 7 年間)</p> <p>事務局に関して、7 年で交代する約束となっているので、2024 年度からは技術学会側が担当する。(現在は技師会側 : 岐阜医療科学大学 杉浦明弘先生)</p> <p>大橋新支部長が指名することとなった.</p> <p>《質疑等》</p> <p>特になし.</p>

<p>議題 6</p>	<p>6-1. 財務委員報告について小林財務より資料の通り報告がされた。(資料 6-1-1, 6-1-2)</p> <p>収入 10,625,116 円 支出 8,949,857 円 当期収支差額 1,675,259 円</p> <p>会場参加型の旅費交通費と Web 参加型の Web 会議費は領収証の記載項目が異なるので、兼用したり、変更したりしないように、不要なことは記載しない。 若手育成セミナーの財務関係に必要なデータ提出方法を Google フォームを使用した方法を検討中。</p> <p>6-2. 2022 年度 会計監査報告について松浦監事より報告がされた。(松浦監事) 松浦監事、小山監事により支部運営の期末監査を 3 月 4 日に行われ、下記の通りに報告された。 会の執行に関して、的確に処理されていることを認める。 事業に関して、予定通りの確に実施されていることを認める。 会計処理について、公益社団法人の財務執行状況について、適切に処理されていることを認める。 特に指摘すべき事項は認めない。</p> <p>《質疑等》 (市川) Web 会議費用を支払いしない参加者とはー (小林) 日本放射線技術学会の非会員の方となる。非会員の方には会 Web 会議費の支給はできない。 (石崎) ハイブリッド形式の開催を行った場合に現地参加の委員に関して、会議費の支給は可能かー (國友) できない。交通費・雑費となる。</p>
<p>議題 7</p>	<p>学術委員会報告について大橋副支部長より報告がされた。(資料 7) 学術委員長を大橋副支部長から永澤新副支部長に交代する。</p> <p>7-1. 2023 年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等 (資料 7-1-1,7-1-2) 5 月 27 日金沢、1 月は東海で開催する。</p> <p>7-2. 2023 年度若手育成セミナー開催計画 (資料 7-2) 春の総会のチラシを置けるか確認する。 若手育成セミナーの継続の会員について、毎年更新のような形にしたい。</p>

	<p>7-3. 研究会開催計画について (山田庶務) (資料 7-3) 代表世話人が変更になる研究会があります。</p> <p>○放射線治療研究会 旧) 代表世話人：山田 (聖隷浜松病院) 小島 (金沢大学附属病院) 新) 代表世話人：小島 (金沢大学附属病院) 青山 (愛知県がんセンター)</p> <p>○超音波画像研究会 旧) 代表世話人：坂倉 (城北病院) 安本 (三重県立総合医療センター) 新) 代表世話人：山村 (金沢医科大学病院) 安本 (三重県立総合医療センター)</p> <p>○核医学研究会 (副代表変更) 旧) 代表世話人：市川 (豊橋市民病院) 北 (福井大学医学部附属病院) 新) 代表世話人：市川 (豊橋市民病院) 澁谷 (金沢大学)</p> <p>7-4. 研究会活動計画 (各研究会代表) (資料 7-4) 各研究会代表から活動計画の報告がされた。</p> <p>◀質疑等▶ (市川) 若手育成セミナーは非常に良い企画なので、広報をうまく行ってほしいー (國友) CCRT のポスター郵送に同封するなど、紙媒体の活用も考える。</p>
<p>議題 8</p>	<p>編集委員会報告 (高田副支部長) (資料 8) 本年度も支部会誌 1 回、ビーム中部 2 回の発刊を実施。 支部会誌発刊は 4 月第 1 週を予定。 支部会誌用データを担当の方は用意してください。</p> <p>◀質疑等▶ 特になし。</p>
<p>議題 9</p>	<p>第 51 回秋季学術大会準備報告について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 9) 開催方式：現地開催+現地収録映像のオンデマンド配信 日時：2023 年 10 月 27 日 (金) ~29 日 (日) 会場：名古屋国際会議場 〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号</p>

	<p>《質疑等》 (西出) 演題締切はいつごろになりそうかー (國友) 5/26 正午まで</p>
<p>議題 10</p>	<p>その他</p> <p>10-1. バーコードリーダーの管理について國友支部長より資料の通り報告がされた。(資料 10-1)</p> <p>2022 年の愛知県 CCRT では QR コードリーダーを 4 台使用した。 超音波研究会預かりのバーコードリーダーは江端先生の管理しているものを木戸屋財務に郵送してもらい、そのまま福井大学で預かってもらう。福井大学の管理者を木戸屋財務から嶋田財務に交代する。</p> <p>10-2. 次年度の中部支部 web システム (teams、ZOOM の運用) について國友支部長より資料の通り報告がされた。 Zoom を 2 ライセンスにしたい。ミーティングを 1 ライセンス、ウェビナーを 1 ライセンスを支部として保有することで、特に異論なく承認された。</p> <p>10-3.勉強会の広報として西出理事より、マンモグラフィの機器管理研修会を 8/19,20 に名古屋医療センターにて開催することが報告された。できるだけ中部の方を優先していきたい。</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023 年 3 月 14 日

支部長 國友博史 

<p>議題 1</p>	<p>本部報告（大橋支部長）</p> <p>大橋支部長より資料 1 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RPT 誌の英語推敲システムを RPT 誌査読システムから切り離して運用することに変更する。RacNe から依頼することとし、RPT 誌への投稿の誓約書を提出することになる。 ・ 地方支部関連 web 化の効果と hybrid 化の経費の関係の検討。 ・ 活動の見える化「地方支部の売りは？」支部のテーマを決める。 ・ JJRS が承認された。参加登録費支払い後のキャンセルは原則取扱わない。キャンセル処理する場合は支部責任において手数料を引いた額を返金する運用にしたい。 ・ 本部のポイント制度評価班より支部イベントで座長・演者等を評価するために会員番号等の情報を収集する依頼がある。 <p>≪質疑応答≫</p> <p>コメント、JJRS の改修案を JSRT 本部に提案して頂きたい。</p> <p>Q. ポイント制度評価班の依頼は昨年度アンケートに回答したものから進展があったという認識でよいか。</p> <p>A. そう思われる。</p>
<p>議題 2</p>	<p>2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画（大橋支部長）</p> <p>大橋支部長より資料 2 の通りに報告がされた。</p> <p>【事業報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2-1 参照。 <p>【事業計画】資料 2-2 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 57 回 CCRT 11 月 25 日、26 日福井で開催 ・ 第 1 回中部支部学術セミナー 5 月 27 日 金沢市。 ・ 第 2 回中部支部学術セミナー 1 月に愛知で計画中。 ・ CT technical boot camp 8 月 26 日、27 日 金沢市で対面開催。 ・ 第 93 回乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会 8 月 19 日、20 日 名古屋市。 ・ 国際研究集会発表における補助金額を物価上昇に対応すべく増額もしくは他の方法で支援額を増額できないか、今後検討することとなった。 <p>≪質疑応答≫</p> <p>特になし。</p>
<p>議題 3</p>	<p>第 57 回中部支部学術大会（第 15 回中部放射線医療技術学術大会）準備報告（村中理事）</p> <p>村中理事より資料 3 の通りに報告がされた。</p> <p>日程 11 月 25 日（土）～26 日（日）</p> <p>会場 AOSSA（福井）8 階、6 階</p>

	<p>情報交換会 ホテルフジタ福井</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド開催 第14回と同様に UMIN の無料のオンライン学術大会システムの利用を検討中。 ・ホームページ開設済み。HP パナーが完成したら中部支部 HP に掲載を希望。 ・企業協賛状況（5月末締め切り）5月17日で22社申込み。 ・教育セミナーを各研究会に依頼。1時間程度で5セミナー程度を予定。 ・演題は6月中旬より募集開始予定。 <p>《質疑応答》</p> <p>Q. 技師会は発表区分に「報告」（症例報告等で倫理審査不要）のセッションを設立しているようであるが、CCRT ではどう対応するのか。</p> <p>A. CCRT 実行委員会で検討するが UMIN の改修が必要であるため、今年度は対応できない可能性がある。</p> <p>コメント. JSRT 代表理事に CCRT 参加を依頼する必要がある。</p> <p>A. 大橋支部長が事務局へ依頼することとなった。5月24日に大橋支部長より代表理事の参加承諾が得られたとの追加報告あり。</p> <p>コメント. 各県技師会 HP への大会 HP パナー掲載依頼はこまめに行う方がよい。</p> <p>A. 承知しました。</p>
<p>議題4</p>	<p>第51回秋季学術大会報告（國友副支部長）</p> <p>國友副支部長より資料4の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員企画としてマンモハンズオンを企画中。 ・一般演題の座長の推薦者（内諾を得てほしい）を各研究会の代表に依頼した。 ・5月23日現在、ランチョン12社、機器展示18社申込あり。治療関係の企業で打診できないか提案された。山田理事が対応することとなった。 <p>《質疑応答》</p> <p>Q. 演題登録数はどのくらいか。</p> <p>A. 現時点で122演題登録されている。</p>
<p>議題5</p>	<p>財務委員報告（小林謙一財務）</p> <p>小林謙一財務より資料（財務委員報告1, 2）の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研究会の財務処理を財務委員で分担して行う。分担割は第2回理事会までに修正し報告することとなった。 ・研究会会議議事録に詳細な内容が無く、議事録として体をなしているか疑問である。第2回理事会にてある程度詳細に記録するように提案することとなった。 ・研究会の財務担当者向けの財務勉強会を企画予定であるが実施できていない。 <p>《質疑応答》</p> <p>コメント. 研究会の財務担当者向け勉強会は行ったほうがよいので検討してほしい。</p>

	<p>A. 財務委員で引き続き検討することとなった。</p>
議題6	<p>学術委員会報告（永澤副支部長） 永澤副支部長より資料（2023 第 2 回理事会金沢_学術永澤 1,2）の通りに学術委員会報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回支部学術セミナー 5 月 27 日（土）14 時～17 時 金沢市 テーマ：最新 CT 技術の革新的な進歩に迫る ・ 第 2 回支部学術セミナー 2024 年 1 月（予定） 愛知県（予定） テーマ：各モダリティの AI 関連（予定） ・ 若手育成セミナー 第 1 回 5 月 24 日(Web 座学), 第 2 回 6 月 14 日(Web 座学), 以降各研究で個別指導予定. 今年度 9 名の募集あり. 3 名は中部支部所属で MRI:2 名, RI:1 名. 一般撮影の補助具関係の研究希望がある（今年度ではない）が担当する研究会が存在しないのでどのように対応するか. 画像研究会が担当となる可能性があるが引き続き検討することとなった。 <p>CT technical boot camp の開催（JSCT 合同開催）について高田副支部長から資料 5 の通りに報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 8 月 26 日, 8 月 27 日 金沢市 ・ 応募は RacNe で行う. ・ 会場, 受付方法等を見直すことで, 支出は昨年度より 18 万円程度抑えることができた. <p>《質疑応答》</p> <p>コメント. 若手セミナーの財務処理が煩雑となっている. 開催の都度, 領収書と議事録が必要. 嶋田財務担当理事と密に連絡を取ってください. 会議費等の支払いは中間監査があるため, 前期と後期に分ける.</p> <p>前期: ~7 月締めで 8 月支払い 後期: ~1 月締めで 2 月支払い</p> <p>Q. CT technical boot camp は本部からの助成金が支給されているか. A. おそらく支給されていないが確認することとなった。</p>
議題7	<p>編集委員会報告（高田副支部長） 高田副支部長より報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 27 日に 2022 年度中部支部会誌を発刊した. ・ ピーム中部は 6 月, 12 月発刊を予定.

	<p>《質疑応答》 特になし。</p>
議題8	<p>2023年度本部 Webex と Teams 両方での運用について (大橋支部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来なら本部の Webex を廃止し Teams へ移行予定であったが、今年度も継続となった。中部支部としては昨年度と同様 Webex と Zoom が利用可能である。中部支部に Teams のアカウントを付与されているが、國友副支部長の個人アカウントであること、ビデオ会議のみであり、研究会単位やセミナー対応はしていないため、運用方法については今後検討することとなった。 <p>《質疑応答》</p> <p>コメント. 中部支部の Zoom ライセンスについてはクレジット決済が上手くいかず、契約キャンセルとなってしまったため、現在ベーシック契約となっている。現在更新中である。</p>
議題9	<p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際学会補助申請 (高田副支部長) 高田副支部長より資料 6 の通りに報告がされた。 <ul style="list-style-type: none"> ・国際学会補助申請. 1名あり ・総務委員全会一致で申請が許可された。 2. 次回第3回総務委員会・理事会について <ul style="list-style-type: none"> ・当初, 10月14日(土) PM 名古屋市を予定していたが, 10月7日(土) PM 名古屋市に日程変更となった。 <p>《質疑応答》 特になし</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023年 6月14日

支部長 大橋 一也 

<p>議題 1</p>	<p>本部報告（大橋支部長）</p> <p>大橋支部長より資料 1 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田代表理事の所信表明。 ・RPT 誌の英語推敲システムを RPT 誌査読システムから切り離して運用することに変更する。RacNe から依頼することとし、RPT 誌への投稿の誓約書を提出することになる。 ・地方支部関連 web 化の効果と hybrid 化の経費の関係の検討。 ・活動の見える化「地方支部の売りは？」支部のテーマを決める。 ・JJRS が承認された。参加登録費支払い後のキャンセルは原則取扱わない。キャンセル処理する場合は支部責任において手数料を引いた額を返金する運用にしたい。 ・本部のポイント制度評価班より支部イベントで座長・演者等を評価するために会員番号等の情報を収集する依頼がある。 <p>《質疑応答》</p> <p>特になし</p>
<p>議題 2</p>	<p>2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画（大橋支部長）</p> <p>大橋支部長より資料 2 の通りに報告がされた。</p> <p>【事業報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 月 28 日 中部支部会誌を発刊した。 <p>【事業計画】資料 2 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 57 回 CCRT 11 月 25 日、26 日福井で開催 ・第 1 回中部支部学術セミナー 5 月 27 日 金沢市。 ・第 2 回中部支部学術セミナー 1 月に愛知で計画中。 ・CT technical boot camp 8 月 26 日、27 日 金大病院 CPD センター 金沢市。 ・第 93 回乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会 8 月 19 日、20 日 名古屋市。 <p>《質疑応答》</p> <p>特になし</p>
<p>議題 3</p>	<p>第 57 回中部支部学術大会（第 15 回中部放射線医療技術学術大会）準備報告（村中理事）</p> <p>村中理事より資料 3 の通りに報告がされた。</p> <p>日程 11 月 25 日（土）～26 日（日）</p> <p>会場 AOSSA（福井）8 階、6 階</p> <p>情報交換会 ホテルフジタ福井</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド開催 第 14 回と同様に UMIN の無料のオンライン学術大会システムの利用を検討中。 ・ホームページ開設済み。HP バナーが完成したら中部支部 HP に掲載を希望。 ・企業協賛状況（5 月末締め切り）5 月 17 日で 22 社申込み。

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育セミナーを各研究会に依頼、1時間程度で5セミナー程度を予定。 6月末までに各研究会代表に企画をお願いすることとなった。 ・演題は6月中旬より募集開始予定。 <p>《質疑応答》</p> <p>コメント 技師会側の倫理規程が変更となり、「報告」という項目が設定されたので、CCRTでも対応が必要である。</p> <p>A. UMINで修正可能であり、対応検討することとなった。</p>
<p>議題4</p>	<p>第51回秋季学術大会報告（國友副支部長）</p> <p>國友副支部長より資料4の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員企画として乳房トモシンセシスに関するハンズオン、小児関係を企画中。 ・一般演題の座長の推薦者（内諾を得てほしい）を各研究会の代表に依頼した。期限：6月2日 ・5月27日現在、ランチョン12社、機器展示19社、広告7社申込あり。 ・演題数 342 演題(応募は締め切り) <p>《質疑応答》</p> <p>Q. 座長推薦について、アンギオ研究会からの推薦はどの分野になるのか？</p> <p>A. アンギオは撮影部会に該当する。本部の部会割に割り当てられる。期日までに出席をお願いしたい。</p>
<p>議題5</p>	<p>財務委員報告（小林謙一財務）</p> <p>小林謙一財務より資料5の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研究会の財務処理を財務委員で分担して行う。 ・研究会会議議事録は重要であるため、可能な限り詳細に記録して頂きたい。簡便に記載した場合は、詳細を求められた場合提出できるよう別資料を各研究会で保存してください。 ・中部支部共有ドライブを作成し、研究会の財務担当者向けに財務処理関係の参考資料を掲載する予定である。 <p>《質疑応答》</p> <p>コメント 財務処理として不適切な事例も掲載して頂けると役に立つと思います。</p>
<p>議題6</p>	<p>学術委員会報告（永澤副支部長）</p> <p>永澤副支部長より資料6の通りに学術委員会報告がされた。</p> <p>6.1 2023年度学術セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回支部学術セミナー 5月27日（土）14時～17時 金沢市 <p>テーマ：最新CT技術の革新的な進歩に迫る</p>

	<p>・第2回支部学術セミナー 2024年1月(予定) 愛知県(予定) テーマ:各モダリティのAI関連(予定)</p> <p>6.2 2023年度若手育成セミナー</p> <p>第1回5月24日(Web座学),第2回6月14日(Web座学),以降各研究で個別指導予定.今年度9名の募集あり.3名は中部支部所属でMRI:2名,RI:1名. 一般撮影の補助具関係の研究希望がある(今年度ではない)が担当する研究会が存在しないのでどのように対応するか,画像研究会が担当となる可能性があるが引き続き検討することとなった.</p> <p>若手の定義については年齢制限ではなく個別で判断する.</p> <p>若手セミナーの財務処理が煩雑となっている.開催の都度,領収書と議事録が必要.財務担当理事と密に連絡を取ってください.会議費等の支払いは中間監査があるため,前期と後期に分ける.対面開催については領収書に手書きサインが必要.</p> <p>前期:~7月締めで8月支払い 後期:~1月締めで2月支払い</p> <p>質疑応答</p> <p>Q. 対面指導については交通費等の経費の問題が生じるのでは? A. 金額が大きい場合は事前に財務に連絡する.</p> <p>コメント.若手セミナーの指導方法について,大橋支部長の印象では個別指導よりグループ指導の方が成果が出ている印象なので,1対1対応よりグループで行った方がよいのではとの意見.指導方法については今後整理していく必要がある.</p> <p>Q. 個別対面指導で装置を使用する場合,故障等のトラブルが生じた場合の補償はどうか? A. 学会本部に装置使用に関する保険が利用できるが,研究指導レベルで適応できるか確認することとなった.</p> <p>Q. 個別対面指導で指導者施設で行った場合は謝金等のインセンティブがないのでなんらかの対応はできないか. A. 検討課題であるが,なるべく受講者施設で行うほうがよい.</p> <p>6.3 研究会開催予定(各研究会代表)</p> <p>CT研究会(東海)</p> <p>6~7月 CT研究の最前線報告会 Web 9月 CTビギナーズセミナー Web 1月 CT関連論文の抄読会 Web</p> <p>CT研究会(北陸)</p>
--	---

<p>8月26日, 27日 CT technical boot camp 会期末定 定例会 被ばく関連について</p> <p>MR 研究会 8月19日 内容未定 施設見学含む 富山県立中央病院 他検討中</p> <p>医療情報システム研究会 未定</p> <p>放射線防護研究会 2023年度第1回中部支部放射線防護セミナー 日時: 2023年7月8日(土) 13:00~ 会場: Web 参加費: 会員 500円, 非会員 1000円, 学生会員 0円 基調講演 金沢大学附属病院 能登 公也 先生 CT 藤田医科大学 羽場 友信 先生 IVR 愛知医科大学病院 大澤 充晴 先生 乳房撮影 大同病院 奥田 智子 先生</p> <p>線量計体験セミナー(予定) 日時: 12月頃対面開催予定 会場: 愛知県予定</p> <p>乳房画像研究会 第58回乳房画像研究会 日時: 2023年6月24日(土) 14:00~17:00 会場: 石川県地場産業振興センター 本館2階 第2研修室 参加費: 会員 500円, 非会員 1000円 講演1 福島県立医科大学 広藤 喜章 先生 講演2 石川県立中央病院 吉野 裕司 先生 講演3 岐阜医療科学 西出 裕子 先生</p> <p>第59回乳房画像研究会 会期末定 名古屋で開催予定</p> <p>第93回乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会 日時: 8月19日(土)~20日(日)</p>

会場：国立病院機構名古屋医療センター（名古屋）

定員：50名

募集期間が短いので注意が必要。

画像研究会

第69回画像研究会（対面困難ならWeb開催）

日時：2023年9月23日（日）14:00～17:00（予定）

会場：名古屋市立大学 医学研究棟 11階 講義室A

テーマ：未定

超音波研究会

2023年度第1回中部超音波検査フォーラム

日時：2023年9月24日（日）9:00～17:00

会場：金沢医学大学病院

テーマ：未定 参加費：会員500円，非会員1000円

アンギオ研究会

2023年度第1回アンギオ研究会

日時：2023年6月24日（土）13:00～

会場：愛知医科大学 たちばなホール +オンライン[ハイブリッド開催]

テーマ：“外傷IVR+体幹部+四肢に対するIVR技術”について学ぶ

講師：特別講演講師 藤田医科大学 救急科・放射線科医 船曳 知弘 教授

教育講演講師 済生会横浜東部病院 放射線技術科 稲垣 直之 先生

技術講演講師 筑波メディカルセンター 放射線技術科 石橋 知通 先生

技術講演講師 刈谷豊田総合病院 放射線技術科 長谷川 光太郎 先生

技術講演講師 富山大学医学部附属病院 中央放射線部 中島 一哉 先生

画像評価に関する内容でCCRTにエントリーもしくは別開催か検討中

循環器関係の内容で1月頃予定

核医学研究会

第6回 核医学セミナー

日時：2023年7月30日（日）9:30～17:00

会場：刈谷市総合文化センター

テーマ：0からはじめる SIMIND シミュレーション

参加費：会員500円，非会員1000円，学生無料（社会人院生除く）

第7回 核医学セミナー

	<p>日時：2023年12月予定 会場：Web</p> <p>CCRTに企画エントリーを検討中</p> <p>放射線治療研究会 12月 内容未定 愛知県放射線治療研究会 2024年1月 放射線治療研究会 Web セミナー</p> <p>6.4 CT technical boot camp の開催について CT technical boot camp の開催（JSCT 合同開催）について高田副支部長から資料 7 の通りに報告された。 開催日 8月26日, 8月27日 金沢市 応募は RacNe で行う。 会場, 受付方法等を見直すことで, 支出は昨年度より 18万円程度抑えることができた。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題7</p>	<p>編集委員会報告（高田副支部長） 高田副支部長より編集委員会報告がされた。 ・4月28日に2022年度中部支部会誌を発刊した。 ・チーム中部は6月, 12月発刊を予定。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題8</p>	<p>2023年度本部 Webex と Teams 両方での運用について（大橋支部長） ・本来なら本部の Webex を廃止し Teams へ移行予定であったが, 今年度も継続となった。中部支部としては昨年度と同様 Webex と Zoom が利用可能である。中部支部に Teams のアカウントを付与されているが, 國友副支部長の個人アカウントであること, ビデオ会議のみであり, 研究会単位やセミナー対応はしていないため, 運用方法については今後検討することとなった。本部は Teams を推奨, 理事会等でまず利用してみる。 ・中部支部の Zoom ライセンスについてはクレジット決済が上手くいかず, 契約キャンセルとなってしまったため, 現在ベーシック契約となっている。現在更新中である。</p>

	<p>〈質疑応答〉 特になし</p>
<p>議題9</p>	<p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際研究集会発表における補助申請（高田副支部長） 高田副支部長より資料 8 の通りに報告がされた。 ・国際学会補助申請、1名あり。 ・5月23日の総務委員会で申請が許可された。 2. 次回第3回総務委員会・理事会について ・当初、10月14日（土）PM 名古屋市を予定していたが、 10月7日（土）PM 名古屋市に日程変更となった。 3. 倫理審査講習会 現在2名エントリー、参加希望者がいれば大橋支部長へ依頼。 4. ポイント制度導入検討班からの依頼について 2021年、2022年度、支部関係の企画に関わった方について集計をお願いします。 期限：決定次第連絡 詳細については検討班に確認し再度連絡する。 5. 第58回中部支部学術大会（第16回中部放射線医療技術学術大会）報告（廣田理事） 日時：2024年12月7日（土）～8日（日） 会場：じゅうろくプラザ（岐阜市） 大会長：加藤秀記（公社）岐阜県診療放射線技師会会長 副大会長：廣田 真（公社）日本放射線技術学会中部支部 岐阜県理事 <p>〈質疑応答〉 特になし</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023年 6月14日

支部長

大橋一也 

2023年 10月 10日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2023年度 第3回 日本放射線技術学会中部支部総務委員会		
開催日時	2023年10月7日(土) 13時00分～15時00分	開催場所	(名古屋市) JPター名古屋 ミッドタウンクリニック名駅 会議室
出席者名	大橋一也、國友博史、高田忠徳、永澤直樹、木戸屋栄次、小林謙一、嶋田真人、 高木雅悠、加藤勝也、山田薫、村中良之 合計 11名 欠席者:能登公也 合計 1名		
議長・司会	永澤 直樹	報告者名	山田 薫
議題 (項目のみとし、審議内容および結果については 2号用紙に記入する)			
議題			
1	本部報告		
2	2023年度事業計画		
3	第57回中部支部学術大会(第15回中部放射線医療技術学術大会)準備報告		
4	第51回秋季学術大会報告		
5	財務委員報告		
	5-1) 中間監査報告		
	5-2) 財務取り決め		
	5-3) インボイス制度について		
6	学術委員会報告		
	6-1) 2023年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等		
	6-2) 2023年度若手育成セミナー 受講者の進捗について(理事会のみ)		
	6-3) 研究会開催予定(理事会のみ:各研究会代表)		
	6-4) CT technical boot camp の開催報告		
	6-5) 2024年度活動計画(学術委員会・研究会)の作成について		
7	2023年度中部支部表彰		
	7-1) 功労賞候補者		
	7-2) 奨励賞候補者		
8	2023年度支部年会について		
9	編集委員会報告		
	9-1) ビーム中部プログラム号編成について		
	9-2) 支部ホームページおよびメルマガの RacNe 移行について		
10	その他		
	10-1) 2023年度梅谷賞候補者推薦		
	10-2) シンポジウム提案、宿題報告者推薦		

<p>議題 1</p>	<p>本部報告（大橋支部長）（資料 1） 大橋支部長より資料 1 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 53 回秋季学術大会（北海道）より参加費の見直し 現地のみと現地+オンデマンドの参加費に価格差をつける JIRA にも負担増をお願いするので JSRT 側も負担増 ・ 北海道支部の個人情報漏洩の補償は行わない方向 ・ 地方支部に入会促進を行うことが求められている 案) 学生入会者数増やすために理事が教育施設への勧誘訪問 初年度会費無料 会費と同額程度の参加費に使える電子クーポン配布（実質無料） 会員はセミナー現地参加無料 <p>〈質疑応答〉 Q.支部主催の研究助成プログラムの支援制度が終了するが、CT technical boot camp は継続できるか？ A.他に黒字の企画もあるので大丈夫ではないか。良質の企画は継続していきたい。</p>
<p>議題 2</p>	<p>2023 年度事業計画（大橋支部長）（資料 2） 大橋支部長より資料 2 の通りに報告がされた。</p> <p>〈質疑応答〉 特になし</p>
<p>議題 3</p>	<p>第 57 回中部支部学術大会（第 15 回中部放射線医療技術学術大会）準備報告（村中理事） （資料 3-1, 3-2, 3-3） 村中理事より資料 3-1, 3-2, 3-3 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交換会は規模縮小し関係者のみで行う。→後日理事に出欠確認メールをおくる。 ・ 倫理審査が必要→16 演題。（内 2 演題は取り下げ）新しく JART にできた「報告」カテゴリーに倫理審査が必要な症例報告が多く含まれていた。 <p>〈質疑応答〉 Q.参加登録の締め切りは？財務的に振り込まれる時期により月ズレを起こすので。 A. 11/30 まで。 （小林財務）今回は大丈夫。インボイス関係の対応が遅れているので要注意。 12 月開催の岐阜は締切日を検討する必要あり。 Q. 支部年会に割り当ての時間はタイトすぎないか？ 審議の結果、多少のびる前提でこのスケジュールまま行うこととなった。（但し、表彰対象者が次のセッションにかぶってないか確認が必要。）</p>

	<p>Q.JJRS の使い勝手は？ (國友副支部長)マニュアル作成中なので福井でもモディファイして次につなげてもらいたい。</p>
議題4	<p>第 51 回秋季学術大会報告 (國友副支部長) (資料 4) 國友副支部長より資料 4 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者等順調に伸びている ・自施設に倫理審査委員会がない施設は病院長所属長の承認でよかったところが今回からはダメになった ・実行委員会企画としてハンズオンに力をいれている。「医用モニタ品質管理」「マンモグラフィモニタ品質管理」「デジタルプレストモシンセシスの品質管理」 ・機器展示集客にも工夫を凝らした。(スタンプラリーなど) <p>《質疑応答》 特になし</p>
議題5	<p>財務委員報告</p> <p>5.1) 中間監査報告 (小林謙一財務) (資料 5-1-1, 5-1-2) 小林財務より資料 5-1-1 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領収書の宛名が個人名のものであった。 ・税率記載がないものが多数ある。 <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>5-2) 財務取り決め (資料 5-2-1, 5-2-2, 5-2-3) 嶋田財務より資料 5-2-1, 5-2-2, 5-2-3 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web 会議費 2,000 円は今年度までなので資料は今年度限定。 (小林財務より補足) <p>Web の場合、会議費 2,000 円もコロナ禍前の弁当代 1,000 円も拠出不可能になる。 本部で会員演者の講演にも謝金が払えるよう内規変更を検討中であるが、スタッフに支給する すべはない。</p> <p>《質疑応答》</p> <p>Q.フロー上では Web 開催の場合、庶務が支払いを担当することになっているが、かかわらない委員会など取り扱いが難しい。今後どうするか？ A.すべて財務で行う。フローを訂正する。</p> <p>Q.若手育成セミナーの全体セミナーの取扱いは研究会ではなく学術委員会では？ A.記載を修正する。</p> <p>他、“リハーサル”を“事前打ち合わせ”と訂正、全体若手育成セミナーの記載も修正。</p>

	<p>5-3) インボイス制度について(追加資料あり) RacNe で集金ではなく、現地で集金の場合は手続きが変わる。 ①領収証は発行者が控えを作成する。 ②発行する領収書には税率を記載する必要あり。 ③税率が記載されていない領収書は使用できない。(研究会は課税対象) なるべく現金を扱わないほうがよい。領収証の保管7年問題などもあり RacNe 決済推奨。</p> <p>《質疑応答》 Q.各研究会で様式がバラバラになる可能性あり。様式が決まっているほうが良い。 A.使用する前に財務でチェックが必要。様式は検討する。(本部とも相談が必要。)</p>
<p>議題6</p>	<p>学術委員会報告</p> <p>6.1) 2023 年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等 (永澤副支部長) (資料 6-1-1, 6-1-2, 6-1-3) 永澤副支部長より資料 6-1-1, 6-1-2, 6-1-3 の通りに報告がされた。 ・支部学術セミナー2 回目について (参加費について) 現地：会員 500 円 / 非会員 1,000 円 ライブ配信：会員 2,000 円 / 非会員 3,000 円 Web 参加者のほうを高く設定(今後の流れ)もう少し安くすべきか?→理事会で相談。 (発表者について) 「各モダリティにおけるうまくいかなかった症例」を発表できる方募集中。 →理事会で研究会代表に呼びかける。</p> <p>《質疑応答》 Q. Zoom 配信を行う担当者は? A. 石崎アンギオ研究会世話人をお願いする予定。</p> <p>6.2) 2023 年度若手育成セミナー (永澤副支部長) (資料 6-2-1, 6-2-2) 永澤副支部長より資料 6-2-1, 6-2-2 の通りに報告がされた。 ・今年度は MR2 名、核医学 1 名。1 期 2 期から継続中 4 名の計 7 名指導中。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>6-3) 研究会開催予定 (理事会のみ：各研究会代表) 各研究会代表より今年度計画について理事会にて報告いただくことを確認した。</p> <p>6-4) CT technical boot camp の開催報告 (高田副支部長) (資料 6-4-1, 6-4-2) 高田副支部長より資料 6-4-1, 6-4-2 の通りに報告がされた。</p>

	<p>《質疑応答》 特になし</p> <p>6-5) 2024 年度活動計画（学術委員会・研究会）の作成について（大橋支部長） 大橋支部長より 2024 年度活動計画の作成について依頼あり。 各委員会、研究会に向けて理事メールにてお願いする予定。</p> <p>《質疑応答》 特になし。</p>
議題7	<p>2023 年度中部支部表彰（加藤庶務）（資料 7）</p> <p>7-1) 功労賞候補者 7-2) 奨励賞候補者</p> <p>加藤庶務より資料 7 の通りに報告がされた。 奨励賞候補 9 名は条件を満たしていることを確認済み。</p> <p>《質疑応答》 奨励賞候補者については全員を推薦する。→理事会で承認をもらう。 功労賞については小山先生を推薦することにする。→理事会で承認をもらう。 木戸屋先生、國友先生については次年度の推薦者の候補としたい。</p>
議題8	<p>2023 年度支部年会について（高田副支部長）（資料 8）</p> <p>高田副支部長より資料 8 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行は永澤先生。 ・本部代表理事の支部年会への参加は確認済み（CCRT 側）、理事会への参加も村中理事より依頼する。 <p>《質疑応答》 Q.時間短縮のために次年度支部理事の紹介は削除してもよいか？ A.理事改選の年でないので必要なし。 Q.表彰対象の方が午後のセッションにでられない？ A.表彰者が午後のセッションに被らないように調整をお願いする。</p>
議題9	<p>編集委員会報告（高田副支部長）</p> <p>9-1) ビーム中部プログラム号編成について 高田副支部長よりビーム中部プログラム号編成について報告がされた。 ビーム中部プログラム号を 11 月中旬に発刊予定 11 月上旬までにプログラムを入手する。</p>

	<p>《質疑応答》 特になし</p> <p>9-2) 支部ホームページおよびメルマガの RacNe 移行について (資料 9-2) 高田副支部長より資料 9-2 の通りに報告がされた。 ・本部の HP 更新は費用の問題で凍結している。(凍結期間はわからない。) ・メルマガについて、9/11 より RacNe へ変更。</p> <p>《質疑応答》 Q.セキュリティ対策だけでも費用がかかるなら、ベースから作り直したらどうか? A. 支部 HP のセキュリティ対策をしつつ、新 HP 刷新へ向かう予定。 (近畿支部のものを参考にしたい)</p>
<p>議題10</p>	<p>その他</p> <p>10.1) 2023 年度梅谷賞候補者推薦 大橋支部長より 2023 年度梅谷賞候補者推薦について依頼あり。 理事メールにてアンケートをとる予定。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>10.2) シンポジウム提案、宿題報告者推薦 大橋支部長よりシンポジウム提案、宿題報告者推薦について説明あり。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>事前議案以外) ・学術研究助成金について 名市大の渡辺先生の RSNA 発表について、後期締め切りの 11 月末を待って再度確認する。複数名候補がいれば再度審議、いなければ確認、承認の流れとなる。</p> <p>・研究会助成金について 年間 15 万円では難しいとの意見がある。実情を理事会で確認する。</p>

<p>・市民公開講座 (JSRT,JART 合同) について</p> <p>2025 年は中部地区が担当。(今回は JSRT 側の順番なので中部支部が担当) 規約では担当側が内容等含め決めることとなっているが, JART の方が公開講座のノウハウを持っているので, AART と協力しながら名古屋市で行う予定。</p> <p>第 4 回理事会を 11/25 (土) 福井市にて行うことを確認し、総務委員会は終了。</p>
--

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023 年 10 月 18 日

支部長 大橋 一也 

2023年 10月 10日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2023年度 第3回 日本放射線技術学会中部支部理事会		
開催日時	2023年 10月 7日(土) 15時00分～17時00分	開催場所	(名古屋市) JP 77-名古屋 ミッドタウンクリニック名駅 会議室
出席者名	大橋一也、國友博史、高田忠徳、永澤直樹、松浦幸広、小山修司、小林謙一、 嶋田真人、加藤勝也、山田薫、西本卓矢、山崎暁夫、村中良之、三浦淳也、 白崎展行、法橋一生、東出了、上野博之、石崎宗一郎、市川肇 合計 20名 欠席者:木戸屋栄次、能登公也、廣田真、野村孝之、小島礼慎、山村博、西出裕子 合計 7名 支部長指名出席者:高木雅悠 合計 1名		
議長・司会	永澤 直樹	報告者名	山田 薫
議題 (項目のみとし、審議内容および結果については 2号用紙に記入する)			
議題			
1	本部報告		
2	2023年度事業計画		
3	第57回中部支部学術大会 (第15回中部放射線医療技術学術大会) 準備報告		
4	第51回秋季学術大会報告		
5	財務委員報告		
	5-1) 中間監査報告		
	5-2) 財務取り決め		
	5-3) インボイス制度について		
6	学術委員会報告		
	6-1) 2023年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等		
	6-2) 2023年度若手育成セミナー 受講者の進捗について (理事会のみ)		
	6-3) 研究会開催予定 (理事会のみ:各研究会代表)		
	6-4) CT technical boot camp の開催報告		
	6-5) 2024年度活動計画 (学術委員会・研究会) の作成について		
7	2023年度中部支部表彰		
	7-1) 功労賞候補者		
	7-2) 奨励賞候補者		
8	2023年度支部年会について		
9	編集委員会報告		
	9-1) ビーム中部プログラム号編成について		
	9-2) 支部ホームページおよびメルマガの RacNe 移行について		
10	その他		
	10-1)2023年度梅谷賞候補者推薦		
	10-2)シンポジウム提案、宿題報告者推薦		

<p>議題 1</p>	<p>本部報告（大橋支部長）（資料 1） 大橋支部長より資料 1 の通りに報告がされた。 ・ 第 53 回秋季学術大会（北海道）より参加費の見直し 現地のみと現地+オンデマンドの参加費に価格差をつける JIRA にも負担増をお願いするので JSRT 側も負担増 ・ 北海道支部の個人情報漏洩の補償は行わない方向 ・ 地方支部に入会促進を行うことが求められている 案）学生入会者数増やすために理事が教育施設への勧誘訪問 初年度会費無料 会費と同額程度の参加費に使える電子クーポン配布（実質無料） 会員はセミナー現地参加無料</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 2</p>	<p>2023 年度事業計画（大橋支部長）（資料 2） 大橋支部長より資料 2 の通りに報告がされた。</p> <p>《質疑応答》 Q.6/24 のアンギオ研究会は参加人数が 201 名とかなり多いが、現地参加の数は？ A. 現地は運営、演者 25 名ほど。残りは Web 参加。同じ参加費だと Web が多く現地集客が見込みにくい。</p>
<p>議題 3</p>	<p>第 57 回中部支部学術大会（第 15 回中部放射線医療技術学術大会）準備報告（村中理事） （資料 3-1, 3-2, 3-3） 村中理事より資料 3-1, 3-2, 3-3 の通りに報告がされた。 ・ 情報交換会は規模縮小し関係者のみで行う。→後日理事に出欠確認メールをおくる。 ・ 倫理審査が必要→16 演題。（内 2 演題は取り下げ）新しく JART にできた「報告」カテゴリーに倫理審査が必要な症例報告が多く含まれていた。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 4</p>	<p>第 51 回秋季学術大会報告（國友副支部長）（資料 4） 國友副支部長より資料 4 の通りに報告がされた。 ・ 参加者等順調に伸びている ・ 自施設に倫理審査委員会がない施設は病院長所属長の承認でよかったところが今回からはダメになった ・ 実行委員会企画としてハンズオンに力をいれている。「医用モニタ品質管理」「マンモグラフィモニタ品質管理」「デジタルプレストモシンセシスの品質管理」</p>

	<p>・機器展示集客にも工夫を凝らした。(スタンプラリーなど)</p> <p>・ RPT 誌 IF 獲得記念講演も予定されている。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題5</p>	<p>財務委員報告</p> <p>5.1) 中間監査報告 (小林謙一財務) (資料 5-1-1, 5-1-2)</p> <p>小林財務より資料 5-1-1 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領収書の宛名が個人名のものがあった。振込証明が個人名のものもあった。 ・税率記載がないものが多数ある。 <p>松浦監事により資料 5-1-2 通り中間監査が的確に処理されていることが報告された。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>5-2) 財務取り決め (資料 5-2-1, 5-2-2, 5-2-3)</p> <p>嶋田財務より資料 5-2-1, 5-2-2, 5-2-3 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web 会議費 2,000 円は今年度までなので資料は今年度限定。 ・Web 開催の場合でも支払いはすべて財務が行うこととする。 <p>(小林財務より補足)</p> <p>本部で会員演者の講演にも謝金が払えるよう内規変更を検討中であるが、スタッフに支給する すべはない。</p> <p>《質疑応答》</p> <p>Q.研究会開催時に今後も本部 HP に載せる必要があるか？</p> <p>A.対面開催のみであれば本部 HP に載せる必要はない。(Web は地域を選ばないという観点 から本部 HP に載せるようにしていた経緯があった)</p> <p>Q.議事録を提出する際に“リハーサル”の文言を“会議”と書き換える必要があるか？</p> <p>A.内容をもう少し詳細に…ということで“リハーサル”の文言が問題ではない。 フローの“リハーサル”を“事前打ち合わせ”とわかりやすい文言に訂正。</p> <p>5-3) インボイス制度について(追加資料あり)</p> <p>RacNe で集金ではなく、現地で集金の場合は手続きが変わる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 領収証は発行者が控えを作成する。 ② 発行する領収書には税率を記載する必要あり。 ③ 税率が記載されていない領収書は使用できない。(研究会は課税対象) <p>なるべく現金を扱わないほうがよい。領収証の保管 7 年問題などもあり RacNe 決済推奨。</p>

	<p>《質疑応答》</p> <p>Q.各研究会で様式がバラバラになる可能性あり。様式が決まっているほうが良い。</p> <p>A.使用する前に財務でチェックが必要。様式は検討する。(本部とも相談が必要。)</p> <p>Q.対面でも RacNe でなければならないのか？事前登録で不参加の場合返金しづらい。できれば紙対応したい。</p> <p>(意見)現地で RacNe 登録してもらったらどうか？クレジットなら当日でも OK である。</p> <p>ハイブリッドで金額差がある場合、当日申し込みは困難？RacNe の 2 本立てが可能か？</p>
<p>議題6</p>	<p>学術委員会報告</p> <p>6.1) 2023 年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等 (永澤副支部長) (資料 6-1-1, 6-1-2, 6-1-3)</p> <p>永澤副支部長より資料 6-1-1, 6-1-2, 6-1-3 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部学術セミナー2 回目について (参加費について) <p>現地：会員 500 円 / 非会員 1,000 円 ライブ配信：会員 2,000 円 / 非会員 3,000 円</p> <p>Web 参加者のほうを高く設定 (今後の流れ) もう少し安くすべきか？</p> <p>→テスト的意味合いも込めてこの設定でいくことになった。</p> <p>(発表者について)</p> <p>「各モダリティにおけるうまくいかなかった症例」を発表できる方募集中。</p> <p>→研究会世話人に 10 月末をめどに選出依頼をした。(CT、MR、Angio)</p> <p>《質疑応答》</p> <p>Q.講師は全国から探してもよいのか？</p> <p>A.できれば中部メインで。</p> <p>(意見) 今回のプログラム内容から各モダリティのポイントが獲得できる。認定ポイントの掲載をしたほうが集客を見込める。</p> <p>6.2) 2023 年度若手育成セミナー (永澤副支部長) (資料 6-2-1, 6-2-2)</p> <p>永澤副支部長より資料 6-2-1, 6-2-2 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は MR2 名、核医学 1 名。1 期 2 期から継続中 4 名の計 7 名指導中。 ・12 月に今年度受講者による Web 報告会を開催予定。 <p>《質疑応答》</p> <p>Q.資料では終了していると思われる受講者のステータスが「データ収集中」などとなっていて、最終的にどのような形で終了したのか不明なままの人がいる。わかる形でデータ化してほしい。</p> <p>A.確認し、修正する。</p> <p>6-3) 研究会開催予定 (理事会のみ：各研究会代表)</p> <p>CT 研究会(東海):11/9 Web 初学者向けセミナー</p> <p>CT 研究会(北陸):演者都合で今年度はなし</p> <p>MR 研究会(北陸):1/20 石川県立中央病院にて “造影 MR を考える” 詳細未定</p>

	<p>医療情報システム研究会:12/17 Web 内容未定 画像研究会:9/23 名古屋市立大学にて(41名参加) 初歩の画像処理 11/11 金沢大学にて 詳細は HP に掲載予定 乳房画像研究会:報告なし 放射線防護研究会:12/17 藤田医科大学にて 線量測定体験セミナー 放射線治療研究会:12/17 Web 愛知県放射線治療研究会主催 詳細は HP に掲載予定 1/20 Web 7 県合同開催 詳細は HP に掲載予定 アンギオ研究会:12/11 Web アンギオ画像評価 詳細は HP に掲載予定 超音波画像研究会:9/24 金沢医科大学病院にて(28 名参加)4 年ぶりに対面セミナー開催 核医学研究会:12/16 Web 論文投稿についてのセミナー 他分野の方へも声かけ中</p> <p>6-4) CT technical boot camp の開催報告 (高田副支部長) (資料 6-4-1, 6-4-2) 高田副支部長より資料 6-4-1, 6-4-2 の通りに報告がされた。 ・来年の CT technical boot camp は 9/7~8 で行う。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>6-5) 2024 年度活動計画 (学術委員会・研究会) の作成について (大橋支部長) 大橋支部長より 2024 年度活動計画の作成について依頼あり。 各委員会、研究会に向けて理事メールにてお願いする予定。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題7</p>	<p>2023 年度中部支部表彰 (加藤庶務) (資料 7)</p> <p>7-1) 功労賞候補者 7-2) 奨励賞候補者 加藤庶務より資料 7 の通りに報告がされた。 功労賞は小山先生、奨励賞は候補者全員が総務委員会にて推薦されたことを説明。 候補者全員が理事会において承認された。</p> <p>《質疑応答》 特になし。</p>
<p>議題8</p>	<p>2023 年度支部年会について (高田副支部長) (資料 8) 高田副支部長より資料 8 の通りに報告がされた。</p> <p>《質疑応答》 特になし。</p>

<p>議題9</p>	<p>編集委員会報告（高田副支部長）</p> <p>9-1) ビーム中部プログラム号編成について 高田副支部長よりビーム中部プログラム号編成について報告がされた。 ビーム中部プログラム号を 11 月中旬に発刊予定</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>9-2) 支部ホームページおよびメルマガの RacNe 移行について（資料 9-2） 高田副支部長より資料 9-2 の通りに報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部の HP 更新は費用の問題で凍結している。（凍結期間はわからない。） ・支部 HP のセキュリティ対策をしつつ、新 HP 刷新へ向かう予定。 （近畿支部のものを参考にしたい） ・メルマガについて、9/11 より RacNe へ変更。（メルマガ手順書は PDF で配信済み） <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題10</p>	<p>その他</p> <p>10.1) 2023 年度梅谷賞候補者推薦 大橋支部長より 2023 年度梅谷賞候補者推薦について依頼あり。 理事メールにてアンケートをとる予定。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>10.2) シンポジウム提案、宿題報告者推薦 大橋支部長よりシンポジウム提案、宿題報告者推薦について説明あり。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>事前議案以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術研究助成金について <p>名市大の渡辺先生の RSNA 発表について、後期締め切りの 11 月末を待って再度確認する。複数名候補がいれば再度審議、いなければ確認、承認の流れとなる。</p>

<p>・研究会助成金について</p> <p>年間 15 万円では難しいとの意見があるが、基本は参加費でまかなう方向。対面のみの研究会は赤字になりやすい。オンラインもまぜてバランスをとる。魅力ある企画にするためにどうしても財源が必要な場合は財務に相談することも可能。</p> <p>・市民公開講座（JSRT,JART 合同）について</p> <p>2025 年は中部地区が担当。（今回は JSRT 側の順番なので中部支部が担当）規約では担当側が内容等含め決めることとなっているが、JARTの方が公開講座のノウハウを持っているので、AARTと協力しながら名古屋市で行う予定。</p> <p>第 4 回理事会を 11/25（土）福井市にて行うことを確認し、理事会は終了。</p>
--

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023 年 10 月 18 日

支部長

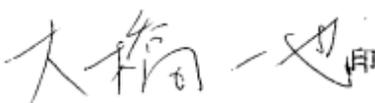
大橋 一也 

<p>議題 1</p>	<p>大橋支部長挨拶（大橋支部長） 大橋支部長から挨拶がされた。 石田代表理事、市田副代表理事の理事会出席に感謝の言葉が述べられた。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 2</p>	<p>石田代表理事挨拶（石田隆行代表理事） 石田代表理事より支部活動への感謝の言葉が述べられた。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 3</p>	<p>支部年会について（永澤副支部長） 理事会の後に行われる支部年会の流れについて確認した。 今年度の支部表彰者の確認をした。 功労賞 1 名 小山 修司先生（名古屋大学大学院医学系研究科）</p> <p>奨励賞 9 名 岩倉 圭佑先生（焼津市立総合病院 診療技術部 中央放射線科） 大谷 昂先生（福井大学医学部附属病院 放射線部） 熊原 成美先生（金沢大学附属病院 放射線部） 齋藤 龍典先生（聖隷浜松病院 放射線部） 坂本 昌隆先生（浜松医科大学医学部附属病院 放射線部） 瀬川 恵子先生（金沢大学附属病院 放射線部） 高田 圭先生（富山大学附属病院 放射線部） 山下 勝礼先生（浜松医科大学医学部附属病院 放射線部） 山下 匠造先生（公立松任石川中央病院 医療技術部 放射線室）</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 4</p>	<p>第 15 回 CCRT 報告（村中副大会長） 第 15 回 CCRT 村中副大会長より 11 時現在の参加者が 320 名程度であると報告がされ</p>

	<p>た。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
議題5	<p>その他</p> <p>石田代表理事より nature に JRS が記事を掲載することとなり、その際に JSRT も記事を掲載する。世界に向けて JSRT の活動についてアピールする良い機会と感じていると述べられた。</p> <p>2024 年度第 1 回理事会 3/2 福井県で開催することを確認した。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2023 年 12 月 4 日

支部長  印

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部会誌 vol.26

2024年4月発行

発行者：支部長 大橋 一也

編集：副支部長 高田 忠徳

理事 山田 薫，西本 卓矢，野村 孝之

事務局：〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田医科大学病院 放射線部内

TEL: 0562-93-2111

URL <https://jsrt-chubu.org/index.cgi>